

(株)ポーランド糞処理施設新築工事

設 計 図

令 和 7 年 6 月

施 主 : 株式会社 ポーランド

設 計 : 今福設備設計

①

地業工事

1 支持地盤

・杭基礎

支持地盤の種類及び位置(基礎ぐいの先端の位置含む)

・図示による・()

○直接基礎

支持地盤の種類及び位置(基礎底部の位置含む)

○図示による・()

長期設計支持力度

○(50) kN/m2・() ※事前に地耐力調査を実施すること

・地盤の載荷試験

・行う

試験の位置、方法等は図示による

種類

・遠心力高強度プレストレストコンクリート杭(PHC杭)

・外殻鋼管付きコンクリート杭(SC杭)

SC杭の鋼管材料・SKK400・SKK490

・プレストレスト鉄筋コンクリート杭(PRC杭)

・()

試験掘

・あり

孔径はオーガー径とする

位置等は図示による

試験掘の施工は試験杭の施工に先立ち行う

・なし

寸法、継手、性能等(種別：種類、性能及び曲げ強度区分)

	種類	杭径(mm)	杭長(mm)	継手数	長期設計支持力(kN/本)	備考
試験杭	上杭 中杭 下杭					
本杭	上杭 中杭 下杭					

試験杭の施工 ※本杭の施工に先立ち行う・()

試験杭の位置、本数 ※最初的一本・図示による

杭先端部形状

・開放形

・半開放形

・閉そく形

・()

施工方法

・打込み工法(・油圧ハンマー・ディーゼルハンマー)

プレボーリングの併用

・行う

掘削深さ及び径

・図示による

・行わない

打込杭推定支持力の算定

・図示による

杭の精度

水平方向の位置ずれ

・杭径の1/4かつ100mm以下

・()

杭の傾斜

・1/100以内

・()

・セメントミルク工法

アースオーガーの支持地盤への掘削深さ

・1.5m程度

・()

杭の支持地盤への掘入れ深さ

・1.0m以上

・()

杭の精度

水平方向の位置ずれ杭径の1/4かつ100mm以下

・()

杭の傾斜

・1/100以内

・()

・特定埋込杭工法

・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式で

$\alpha=250$ を採用できる工法 図示による

・上記以外の特定埋込杭工法 図示による

工法

・プレボーリング拡大根固め工法

・中掘り拡大根固め工法

・()

杭周固定液

・使用する

・使用しない

杭の精度

水平方向の位置ずれ杭径の1/4かつ100mm以下

・()

杭の傾斜

・1/100以内

・()

杭継手工法

・アーク溶接継手

・溶接材料

・溶仕 4.3.6による

・溶仕 7.2.5(a)(b)による

・溶仕 7.2.5(a)(b)以外()

・無溶接継手(継手部に接続金具を用いた方式のもの)

工法 ※審査(評定又は大臣認定)を受けた工法

・()

検査 ※審査(評定又は大臣認定)により定められた項目

・()

施工 ※審査(評定又は大臣認定)された施工管理基準による

・()

杭頭処理

※【県：4.3.7】による()

杭頭補強用コンクリート型枠

※鋼製型枠

・()

杭頭補強

※【県：4.2.3図～4.2.4図】による・図示による

寸法、継手、性能等(4.2.2)(4.4.2)

	種類	杭径(mm)	杭長(mm)	継手数	長期設計支持力(kN/本)	備考
試験杭	上杭 中杭 下杭					
本杭	上杭 中杭 下杭					

2 既製コンクリート杭地業

4 場所打ちコンクリート杭地業

5 地盤改良

(セメント系固化材を用いた工法による改良)

6 置換コンクリート地業

(ラッフルコンクリート地業)

試験杭

試験杭の位置、本数及び寸法

(4.2.2)

図示による

杭先端部形状

開放形・半開放形・閉そく形

(4.4.2)

施工方法

特定埋込杭工法

H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式で

$\alpha=250$ を採用できる工法

図示による

上記以外の特定埋込杭工法

図示による

杭の精度

水平方向の位置ずれ

杭径の1/4以内かつ100mm以下

(4.4.3)

杭の傾斜

杭径の1/4以内かつ100mm以下

(4.4.3)

杭の傾斜

1/100以内

評定条件又は設定条件による

(4.4.3)(4.4.4)

杭の現場継手

溶接継手

形状

JIS A 5525による

溶接材料

標準仕様書7.2.5(a)(b)による

図示による

溶接部の確認方法

標準仕様書7.6.10による

抜き取り率

全数

無溶接継手(継手部に接続金具を用いた方式のもの)

工法

※審査(評定又は大臣認定)を受けた工法

検査

※審査(評定又は大臣認定)により定められた項目

施工

※審査(評定又は大臣認定)された施工管理基準による

杭頭の処理(切断方法)

処理しない(切断しない)

処理する

処理方法(切断及び補強方法)

図示による

(4.4.6)

杭頭の中詰め材料

基礎のコンクリートと同調合のもの

杭径、長さ、仕様等

図示による

()

材料その他

帯筋

図示による

鉄筋の最小かぶり厚さ

図示による

セメントの種類

※高炉セメントB種

()

X4.5.3

(6.3.1)

コンクリートの種別

(4.5.3)

(表4.5.1)

A種

B種

審査(評定又は大臣認定)された内容による

コンクリートの設計基準強度

()N/mm2

(4.5.3～5)

構造体強度補正值(S)

(4.5.3)

3N/mm2

審査(評定又は大臣認定)された内容による

()

掘削工法

(4.5.1)

(4.5.4～5)

アースドリル工法

安定液

使用する

使用しない

リバース工法

オールケーシング工法

孔内の水張り

行う

行わない

併用する工法

場所打ち鋼管コンクリート杭工法

図示による

鋼管巻き材料

SKK400

SKK490

()

拡底杭工法

図示による

安定液

使用する

使用しない

()

試験杭

(4.2.2)

(4.5.4～5)

試験杭の施工

※本杭の施工に先立ち行う

()

試験杭の位置、本数

※最初的一本

図示による

孔壁測定

(4.5.4～5)

行う

測定方法、測定箇所は図示による

行わない

杭の精度

水平方向の位置ずれ

100mm以下

()

杭の傾斜

1/200以内

()

工法

浅層混合処理工法

適用範囲、仕様及び計測、試験は図示による

長期設計支持力

()kN/m2

()

深層混合処理工法

適用範囲、仕様及び計測、試験は図示による

長期設計支持力

()kN/m2

()

形状、支持地盤、仕様

図示による

長期設計支持力

()kN/m2

()

セメントの種類

(6.3.1)

高炉セメントB種

()

コンクリートの設計基準強度

()N/mm2

構造体強度補正值(S)=()N/mm2

鉄筋工事

○ 1 鉄筋の種類

鉄筋の種類

(5.2.1)

(表5.2.1)

種類の記号

呼び名(mm)

備考

○SD295A

○D10

○D13

・D16

・()

・SD345

・D10

・D13

・D16

・()

・SD345

・D19

・D22

・D25

形状等

(5.2.2)

種類

種類の記号

網目の形状、寸法、鉄線の径(mm)

使用部位

○溶接金網

WFP

6.0φ-150網目

機械基礎

鉄筋格子

継手方法等

(5.3.4)

(5.5.2)

部 位

継手方法

呼び名(mm)

柱、梁の主筋

・ガス圧接

・機械式継手

耐力壁の鉄筋

○重ね継手

その他の鉄筋()

・重ね継手

主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ

(5.3.4)

※図示による

継手位置図

※図示による

鉄筋の定着方法

※図示による

(5.3.4)

鉄筋の定着長さ

(5.3.4)

※図示による

・()

最小かぶり厚さ(目地處から算出を行う)

(5.3.5)

※図示による

・()

柱及び梁の主筋にD29以上の使用の有無

・有り

適用箇所()

最小かぶり厚さ

鉄筋径の1.5倍以上

・()

・無し

軽量コンクリートで土に接する部分

・無し

・有り

適用箇所()

・図示による

・()

耐久性上不利な部分(塩害等を受けるおそれのある部分等)

・無し

・有り

適用箇所()

・図示による

・()

鉄筋相互のあき(特殊な鉄筋を除く)

(5.3.5)

(図5.3.6)

・図示による

・()

6 特殊な鉄筋継手

機械式継手

(5.5.2)

使用箇所

※図示による

・()

(5.5.2)

性能(H12建告第1463号に適合するもの)

・A級

・()

(5.5.2)

機械式継手の種類

()

(5.3.5)

鉄筋相互のあき

・図示による

・()

品質の確認方法

・図示による

・()

不良となった継手の修正方法等

・図示による

・()

溶接継手

使用箇所

※図示による

・()

(5.5.3)

性能(H12建告第1463号に適合するもの)

・A級

・()

(5.5.3)

溶接継手の工法

()

(5.3.5)

鉄筋相互のあき

※図示による

・()

(5.5.3)

品質の確認方法

※図示による

・()

(5.5.3)

不良となった継手の修正方法等

※図示による

・()

今福設備設計

福岡県福岡市早良区原3-6-5-702

TEL 092-776-1190

FAX 092-776-1190

一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-61618号

一級建築士登録 第344237号

今福 雄一

承認

設計

構造

製図

工事名 (株)ポークランド 糞処理施設新築工事

図名 建築工事特記仕様書 (1)

S I Z E

A 2

NO.

A-002

S C A L E

DATE

2025. 6

鉄骨工事	4	15 鉄骨の製作精度	(7. 1. 3) ※ 標仕 7.3.3による 溶接ずれ及び食い違い ・ 溶接部はH12建告示1464号第二号イ(1)(2)に規定する仕様を満足すること ・ 溶接ずれ及び食い違いはH12建告示1464号第二号イ(1)(2)に規定する ただし書きの計算確認有り。 ・ 図示による
	16 鉄骨の仮組	仮組を行う範囲 ※ 図示による (7. 3. 10) 確認方法、確認項目 ※ 図示による	
	17 溶接技能者の技量付加試験	試験の要領及び試験を要する溶接箇所 ※ 図示による	
	18 溶接接合	開先の形状 ※ 図示による (7. 6. 4) スカラープの形状 ※ 図示による (7. 6. 7) エンドタブの切除する部分 ・ 全て (7. 6. 7) ・ 見え掛り部となる部分 ・ 切除する部分なし (7. 6. 7) 溶接部の余盛り高さ ・ (7. 6. 7)	
	19 現場溶接の有無	・ 無し ・ 有り 適用箇所 ※ 図示による	
	20 入熱、パス間温度 溶接条件	鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件 ・ 図示による 適用箇所 ・ 図示による ・ 柱、梁、プレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部	
	21 溶接部の試験	完全溶込み部の超音波探傷試験11)(表7. 6. 2)(表7. 6. 3)(表7. 6. 4) ※ 行わない ※ 行う ・ 工場溶接の場合 ・ 全数検査 ・ 抜取検査 A O Q L (%) 筋 ・ 全て ・ 4. 0 ・ 2. 5 検査水準 ・ 第6水準 ・ ・ 工事現場溶接の場合 ・ 全数検査 ・ 計数連続生産型抜取検査 A O Q L (%) (4. 0 2. 5)	
	22 錆止め塗装	塗料の種類 (7. 8. 3)(18. 3. 2) ・ 鉄鋼面の錆止め塗料 屋外 ・ 標仕 18. 3. 2 表18. 3. 1 ()種 () 屋内 ・ 標仕 18. 3. 2 表18. 3. 1 ()種 () () 亜鉛めっき鉄面の錆止め塗料 ・ 標仕 18. 3. 2 表18. 3. 2 ()種 () 鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面(鉄骨に溶接されたものに限り) ・ 標仕 18. 3. 2 表18. 3. 1 ()種 () 耐火被覆材の接着する面への塗装 ・ 行わない ・ 行う 適用箇所 ・ 図示による ()種 塗料の種類 ・ 標仕 18. 3. 2 表18. 3. 1 ()種 ・ 標仕 18. 3. 2 表18. 3. 2 ()種	
	23 耐火被覆	種別 (7. 9. 2～7. 9. 7) 種 別 材料・工法 適用箇所(部位・部分) ・ 耐火材吹付け ・ 乾式吹付けロックウール ・ 半乾式吹付けロックウール ・ 湿式ロックウール ・ ・ ・ 耐火板張り ・ 繊維混入けい酸カルシウム板 ・ ・ ・ 耐火材巻付け ・ 高断熱ロックウール ・ ラス張りモルタル塗り	
	○24 アンカーボルトの保持及び埋込み工法	建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法 (7. 2. 4)(7. 10. 3)(表7. 10. 1) 種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 構造用アンカーボルトの保持及び埋込み工法 種別 ・ 図示による () 柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種別 (7. 10. 3)(表7. 10. 2) ※ 標仕 表7. 10. 2 (※A種 [モルタル厚さ50]・B種 [モルタル厚さ30])による	
25 軽量形鋼構造	接合部(ボルト接合の場合) (7. 11. 2) ・ 普通ボルト接合		
○26 溶融亜鉛めっき(耐力上必要な部分)	種別等 (7. 12. 3)(表14. 2. 2) 亜鉛めっきの種別 材料 備考 A種 最小板厚6. 0mm以上の形鋼、鋼板 B種 最小板厚3. 2mm以上、6. 0mm未満の形鋼、鋼板 C種 普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類 最小板厚2. 3mm以上、3. 2mm未満の形鋼、鋼板 ※ 素地ごしらは、JIS H 8641による 適用箇所 ※ 図示による		
27 梁貫通孔の補強	補強方法 ・ 補強トラス法 ・ 適用箇所 ※ 図示による		

コンクリート工事	○7 各部配筋	各部配筋 ※ 図示による (5. 3. 7)
	8 圧接完了後の試験	外観試験 ※ 行う (全数) (5. 4. 9) 抜取試験 ※ 超音波探傷試験 ・引張試験
	9 帯筋	組立の形の種別 ※ 図示による
	10 最上階柱頭補強	補強方法 ※ 図示による
	11 片持ちスラブの出隅部の補強配筋(出隅受け部分の補強筋を含む)	配筋方法 ※ 図示による 出隅部分及び出隅受け部の補強筋 ※ 図示による
	12 壁開口部の補強	一般壁 ※ 図示による 耐震壁 ※ 図示による
	13 梁貫通孔の補強	補強形式 ※ 図示による 配筋種別 ※ 図示による 梁貫通孔径(部材記号含む)及び配筋種別リスト ※ 図示による
	○14 基礎梁主筋の継手	※ 図示による
	15 機械吊上げ用フック	種別 ※ 図示による
	○1 コンクリートの種類及び強度	普通コンクリートの設計基準強度 (6. 2. 2) 設計基準強度 (F _c) N/mm ² 種別 ○ 18 ・ 21 ・ 24 ・ 27 普通コンクリート 部位 捨てコンクリート基礎 経量コンクリート 部位 上記には補正值Sは含まれない 経量コンクリートの設計基準強度 (6. 2. 2) 設計基準強度 (N/mm ²) 適用箇所 ・ 24 ・ スランプの値(単位: cm) (6. 2. 4)(表6. 2. 2) 打込み箇所 捨てコンクリート 柱、梁、スラブ、壁基礎、基礎梁、土間、3層 所要スランプ 15 15 類別 ※ I 類 ・ II 類 (6. 2. 1)(表6. 2. 1) 種類 (6. 3. 1)(表6. 3. 1) ※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で352J/g以下、かつ28日目で402J/g以下のものとする。 施工箇所() ・ 高炉セメントB種 施工箇所() ・ フライアッシュセメントB種 施工箇所() ・ ()
○2 レディーミクストコンクリートの種類		
○3 セメント		
○4 骨材	アルカリシリカ反応性による区分 (6. 3. 1) ○ A ・ B	
5 経量コンクリート	種類 (6. 10. 1)(表6. 10. 1) ・ 1種 ・ 2種	
6 無筋コンクリート	適用箇所 (6. 14. 1) ・ 標仕 6. 14. 1 (a)による箇所 ・ 標仕 6. 14. 1 (a)以外の箇所 ・ 図示による () 設計基準強度 (6. 14. 1) ※ 18N/mm ² ・ () スランプ ※ 15cm又は18cm ・ ()	
7 ひび割れ誘発目地打設目地	目地寸法 (6. 6. 3)(6. 8. 2)(9. 7. 3) ・ 標仕 9. 7. 3による ・ 図示による 間隔、位置、形状 ・ 図示による ()	
○8 コンクリート仕上り	部材の位置及び断面寸法の許容差の標準値 (6. 2. 5)(表6. 2. 4) ・ 標仕 表6. 2. 5による () 合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ (6. 2. 5)(6. 9. 3)(表6. 2. 4) ※ コンクリートの打放し仕上げ種別と適用箇所は図示による	
9 打増し厚さ(打放し仕上り部)	・ 打放し仕上げ(仕上塗材、塗装等の仕上げを行う部分を含む) (6. 8. 2)の打増し厚さ(外部に面する部分に限る) ・ 50mm ・ () ・ 打放し仕上げ(仕上塗材、塗装等の仕上げを行う部分を含む)の打増し厚さ(内部に面する部分に限る) ・ () ・ 外壁タイル張りで、MCR工法又は目荒らし(高圧水洗)工法を行う場合は外部側に20mmの打増しを行う	
○10 型枠	せき板の材料 (6. 8. 3) ○ 合板(国産材) ・ () せき板の厚さ ○ 12mm ・ () 断熱材の兼用 ・ 行う 適用箇所() ○ 行わない スリーブの材種 ※ 標仕6. 8. 3 (i) (2)及び表6. 8. 1による()	
○11 圧縮強度試験	公的機関でコンクリートの材齢28日圧縮強度試験を行う建築物・その部位等 建築物名 部位 ※ 基礎 ・ ()	

鉄骨工事	④	1 鉄骨製作工場	鉄骨製作工場の加工能力 (7. 1. 3) ※建築基準法第77条の56に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認定を受けた(株)日本鉄骨評価センター及び(株)全国鉄骨評価機構(旧(社)全国鉄構工業協会)の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める下記のグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場 ・ S ・ H ・ M ・ R ・ J グレード ・ 監督員の承諾する工場(標仕 7. 1. 1 以外の適用範囲に限る。)
	2 施工管理技術者	・ 適用する (7. 1. 3) (7. 1. 4) ・ 適用しない	
	○3 鋼材	材質等 (7. 2. 1)(表7. 2. 1) 種類の記号 適用箇所 規格 ※ 図示による() ※ JISによる ・ 大臣認定による ○ <i>ﾏｰｸ</i> -規格 ※ 図示による() ※ JISによる ・ 大臣認定による ○ <i>ﾏｰｸ</i> -規格 有効細長比(圧縮材に限る) ※ 図示による ・ ()	
	4 高力ボルト	ボルトの区分7. 2. 2)(7. 3. 2)(7. 4. 1～7. 4. 9) ・ トルシア形高力ボルト セットの種類 ・ 2種 (S10T) ・ () ・ JIS形高力ボルト セットの種類 ・ 2種 (F10T) ・ () 高力ボルトの径 ・ 図示による ・ () ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・ 図示による ・ () すべり係数試験 (7. 4. 2) ※ 行わない ・ 行う 試験方法等 ・ 図示による ・ ()	
	○5 普通ボルト	ボルト及びナットの材料 (7. 2. 3) ・ 標仕 表7. 2. 3による ○ (<i>ﾏｰｸ</i> -規格) 座金 ・ 標仕 7. 2. 3 (d)による ・ () ボルトの径 ・ 図示による ○ (<i>ﾏｰｸ</i> -規格) ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7. 2. 3)(7. 3. 2) ・ 図示による ・ ()	
	○6 溶融亜鉛めっき高力ボルト	セットの種類 (7. 2. 2)(7. 12. 3～4) ・ 1種 (F8T 相当) ○ (<i>ﾏｰｸ</i> -規格) 溶融亜鉛めっき高力ボルトの径 ○ 図示による ・ () 溶融亜鉛めっき高力ボルトのめっき前の孔径 (7. 3. 8) ※ 審査 (評定又は大臣認定)を受けた内容による ・ () ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・ 図示による ・ () 摩擦面の処理 ・ プラスト処理(表面粗度50μmRz以上) ・ ()	
	○7 アンカーボルト	適用 (7. 2. 4)(表7. 2. 3)(7. 10. 3) ○ 構造用アンカーボルト セットの種類 ・ JSS II 13-2004 ABR400 ・ JSS II 13-2004 ABR490 ・ () 形状、寸法 ○ 図示による ・ () ・ 建方用アンカーボルト 材質 ・ SS400 ・ () アンカーボルト及びナットのねじの種類、規格、ねじの等級の規格及び仕上げの程度 ・ 標仕 表7. 2. 3による ・ () 形状、寸法 ・ 図示による ・ ()	
	8 溶接材料	溶接材料 (7. 2. 5) ※ 標仕 7. 2. 5 (a) (b)による。 ・ 標仕 7. 2. 5 (a) (b)以外の溶接材料 材料及び使用箇所 ・ 図示による ・ ()	
	○9 ターンバックル	種類 (7. 2. 6) 建築用ターンバックル胴 ・ 割棒式 ○ (<i>ﾏｰｸ</i> -規格) 建築用ターンバックルボルト ・ 羽子板ボルト ○ (<i>ﾏｰｸ</i> -規格) ねじの呼び ※ 図示による ・ ()	
	10 デッキプレート	材質、形状及び寸法 (7. 2. 7) 適用箇所 材質・形状・寸法 備考 ・ 構造床 ・ 合成スラブ ・ 床型枠用 ・ 開口部補強要領(補強筋の定着長さ等を含む) ・ 図示による ・ () デッキプレートを鉄骨部材に溶接する場合の工法(合成スラブ除く) (7. 7. 8) ・ アークスポット溶接又は隅肉溶接 () デッキプレートを鉄骨部材に溶接する場合の工法(合成スラブ) ・ 焼接 ・ 栓溶接 ・ スタッド () 耐火認定 ・ 有り 耐火時間 ・ 図示による ・ () ・ 無し	
11 レール及びその付属品	形状及び寸法等 (7. 2. 8)(表7. 2. 5) ・ 図示による ・ ()		
12 スタッド	材質、形状及び寸法 ※ 頭付きスタッド JIS B 1198 ・ ()		
13 柱底均しモルタル	呼び名等 呼び名 呼び長さ(mm) 適用箇所 ・ 16 ・ 19 ・ 22 モルタルの種類 (7. 2. 9) ※ 無収縮モルタル ・ () 無収縮モルタルの材料、調合等 材料、調合等 ※ 標仕 7. 2. 9 (b)による ・ () 品質及び試験方法 ※ 標仕 表7. 2. 6による ・ ()		
14 工作図	監督員による現寸検査 ・ 行わない (7. 3. 2) ・ 行う 増築工事等を含め、既存建築物との取り合う箇所がある場合は現場実測の上作成を行う。		

8	1	伸縮調整目地及び ひび割れ誘発目地	位置 ※標丈 表11. 1. 1による ・図示による(11. 1. 3) (表11. 1. 1)	9	木 工 事	・「集材材の日本農林規格」以外の化粧びり構造用集成材						1 0	木 造 工 事	⑤ 接合金物等の 材質		鋼材の材質 ※S400 ・ () ・ ()					
	2	セメントモルタルによる 陶磁器質タイル張り	タイルの形状、寸法等 (11. 2. 2) (11. 2. 3) (11. 2. 7)			「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材 (12. 2. 1)								⑥ 製作制度		※精度基準は次による 部位等 精度基準 短辺 製作寸法法の±1.5mm以内 長辺 製作寸法法の±1.5mm以内、かつ、±5mm以内 材長 工作寸法法の±5mm以内 断面直角精度 直角とのひずみ±1/100mm					
	3	接着剤による 陶磁器質タイル張り	タイルの形状、寸法等 (11. 3. 2～4) (11. 3. 7)			・普通合板 (12. 2. 1)								⑦ 表面仕上げ		仕上げの強度 ・A種 ※B種					
						○構造用合板								⑧ アンカーボルト		材質 ※S400 ・ () 寸法 ※図示 ・ () アンカーボルトの保持及び埋込み工法 ・A種 ※B種 ・C種 柱底均しモルタルの厚さ ※30mm程度 ・ ()					
9	4	造作用単板積層材	タイルの形状、寸法等 (11. 3. 2～4) (11. 3. 7)	5	床張り用合板等	「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材 (12. 2. 1)						1 0		⑨ 柱底均し仕上げ		柱底均しモルタルの工法 ・A種 ※B種 普通ボルトの材料等 ※(県:12-2.3.5表)による。 ・ ()					
						・パーティクルボード								⑩ 普通ボルト		ボルトに用いる座金の寸法及び厚さ ※図示による。 ボルトが受ける応力の種類 ※図示による。					
	4	陶磁器質タイル型枠 先付け	タイルの形状、寸法等 (11. 4. 2～3) (表11. 4. 1)	6	接着剤	接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。 (12. 2. 2～3) ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外()								12) ラグスクリュー		ラグスクリューの形状、寸法※図示 ・ ()					
						・防蟻、防蟻処理が不要な樹種による製材及び集成材 (12. 3. 1～2) 適用部位: () ・薬剤の加圧注入による防蟻・防蟻処理								13) ドリフトピン		ドリフトピンの形状、寸法※図示 ・ ()					
10	5	階段滑り止め	※磁器製 () ・ ()	7	防蟻・防蟻	・構造用パネル						1 0		14) ジベル		ジベルの種類及び材質 種類 () 材質 () ジベルの形状、寸法等 ※図示 ・ ()					
						接着力に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。 (12. 2. 2～3) ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外()								15) 錆止め塗装		錆止め塗装による防蟻処理を行う構造金物及び接合金等 ※見え掛りとなるすべての構造金物及び接合金等 ・ () 錆止めの塗装の種類 ・A種 ※B種					
	5	階段滑り止め	※磁器製 () ・ ()	7	防蟻・防蟻	・パーティクルボード								⑪ ボルト孔		ボルト孔の径 ・集成材の場合 () ・集成金物の場合 ()					
						○構造用合板								12) ラグスクリュー		ラグスクリューの形状、寸法※図示 ・ ()					
11	5	階段滑り止め	※磁器製 () ・ ()	7	防蟻・防蟻	・構造用パネル						1 0		13) ドリフトピン		ドリフトピンの形状、寸法※図示 ・ ()					
						接着力に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。 (12. 2. 2～3) ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外()								14) ジベル		ジベルの種類及び材質 種類 () 材質 () ジベルの形状、寸法等 ※図示 ・ ()					
	5	階段滑り止め	※磁器製 () ・ ()	7	防蟻・防蟻	・構造用パネル								15) 錆止め塗装		錆止め塗装による防					

9 木工事	1 表面仕上げ	(12.1.4) <table> <tr> <th>表面仕上げの種類</th><th>適用箇所</th></tr> <tr> <td>・A種</td><td></td></tr> <tr> <td>・B種</td><td></td></tr> <tr> <td>・C種</td><td></td></tr> <tr> <td>・D種</td><td></td></tr> </table>	表面仕上げの種類	適用箇所	・A種		・B種		・C種		・D種																																																																																																																																																										
表面仕上げの種類	適用箇所																																																																																																																																																																				
・A種																																																																																																																																																																					
・B種																																																																																																																																																																					
・C種																																																																																																																																																																					
・D種																																																																																																																																																																					
2 製材	(12.2.1) (12.5.1) (12.6.1) (12.7.1) 「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材 <table> <tr> <th>施工箇所</th><th>樹種</th><th>寸法</th><th>等級</th><th>形状</th><th>含水率</th><th>備考</th></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td>※2級</td><td></td><td>※A種・B種</td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td>※2級</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> 「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材 <table> <tr> <th>施工箇所</th><th>樹種</th><th>寸法</th><th>等級</th><th>形状</th><th>含水率</th><th>備考</th></tr> <tr> <td>額縁 開口枠</td><td>スプルース</td><td>図示</td><td>2級</td><td>図示</td><td>※A種・B種</td><td></td></tr> </table> 「製材の日本農林規格」による広葉樹製材 <table> <tr> <th>施工箇所</th><th>樹種</th><th>寸法</th><th>等級</th><th>形状</th><th>含水率</th><th>備考</th></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td>※1級</td><td></td><td>※A種・B種</td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td>※1級</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> 「製材の日本農林規格」以外の製材 <table> <tr> <th>施工箇所</th><th>樹種</th><th>寸法</th><th>造作材の材面の品質</th><th>防虫処理</th><th>難燃処理</th><th>含水率</th><th>備考</th></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td>() 造作材の場合 (※A種・B種)</td><td>・適用する ・適用しない</td><td>・適用する ・適用しない</td><td>※A種・B種 ・</td><td>・</td></tr> </table> 代用樹種を使用できない箇所 () 「集材材の日本農林規格」による造作用集材材 <table> <tr> <th>施工箇所</th><th>樹種</th><th>寸法</th><th>見付け材面の等級</th><th>備考</th></tr> <tr> <td></td><td></td><td>※1等</td><td>・2等</td><td>・</td></tr> </table> 「集材材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集材材 <table> <tr> <th>施工箇所</th><th>化粧薄板の樹種</th><th>芯材の樹種</th><th>寸法</th><th>化粧薄板の厚さ(mm)</th><th>見付け材面の等級</th><th>備考</th></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>※1等</td><td>・2等 ・</td></tr> </table> 「集材材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成材 <table> <tr> <th>施工箇所</th><th>化粧薄板の樹種</th><th>芯材の樹種</th><th>寸法</th><th>化粧薄板の厚さ(mm)</th><th>備考</th></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>・</td></tr> </table> 「集材材の日本農林規格」以外の造作用集成材 <table> <tr> <th>施工箇所</th><th>樹種</th><th>寸法</th><th>見付け材面の品質</th><th>含水率</th><th>備考</th></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>※A種・B種</td><td>・</td></tr> </table> 「集材材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材 <table> <tr> <th>施工箇所</th><th>化粧薄板の樹種</th><th>芯材の樹種</th><th>寸法</th><th>化粧薄板の厚さ(mm)</th><th>見付け材面の品質</th><th>含水率</th><th>備考</th></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>※A種・B種 ・</td><td></td></tr> </table>	施工箇所	樹種	寸法	等級	形状	含水率	備考				※2級		※A種・B種					※2級				施工箇所	樹種	寸法	等級	形状	含水率	備考	額縁 開口枠	スプルース	図示	2級	図示	※A種・B種		施工箇所	樹種	寸法	等級	形状	含水率	備考				※1級		※A種・B種					※1級				施工箇所	樹種	寸法	造作材の材面の品質	防虫処理	難燃処理	含水率	備考				() 造作材の場合 (※A種・B種)	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	※A種・B種 ・	・	施工箇所	樹種	寸法	見付け材面の等級	備考			※1等	・2等	・	施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の等級	備考						※1等	・2等 ・	施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法	化粧薄板の厚さ(mm)	備考						・	施工箇所	樹種	寸法	見付け材面の品質	含水率	備考					※A種・B種	・	施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	備考							※A種・B種 ・		①0 木工事	① 軸組工法工事 1) 木材 樹種名、種類、等級、寸法等 ○ (杉材 無等級材) ・ () 代用樹種を使用しない箇所 ・ () 用材の工法 ・ () ・ () ・ () 軸組の工法 ○ (PKP工法) ・ () 構造用面材 ・ () ・ () ・ () ・ () ・ () 製作工場 ※監督員の承諾する工場 ・ () 施工管理技術者の設置 ・適用する ・適用しない 床書き原寸図 ・作成する ・作成しない 大断面集成材の品質等 強度等級は、次による 構成するひき板の品質等による区分 J A Sによる強度等級等 ・E135-F375 ・E95-F270 ・E65-F225 ・E125-F360 ・E90-F255 ・E60-F210 ・E120-F330 ・E85-F255 ・ () ・E110-F315 ・E30-F240 ・ () ・E105-F300 ・E75-F240 ・ () ・E100-F285 ・E70-F225 ・ () ・対象異等級集成材 ・非対称異等級集成材 ・国土交通大臣が認定したもの 断面の品質 ※2種・3種 接着性能 ・使用環境1・使用環境2 樹種 ・べいまつ ・からまつ ・すぎ ・ () ・ ()	① 屋根及び びとい工事	① 長尺金属板葺 葺膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号 厚さ 50 屋根葺形状 ・心木なし互棒葺 ・立平葺 ・蟻掛葺 ・横葺 備考 下葦材料 ・アスファルトルーフィング 940 ・改質アスファルトルーフィング下葦材 (・一般材・複層材・粘着層付材) ※設置する(図示) ○設置しない ○下葦なし 雪止め (13.2.2) (13.3.2~3) (表13.2.1) 2 折板葺 材料 ※JIS G 3322の屋根用コイル (CGLCCR-20-AZ150) 断熱材 ・有 (種別: 厚さ(mm): 防火性能: 時間) ・無し 3 とい この材種 (13.5.2~3) (表13.5.5) <table> <tr> <th>種別</th><th>材種</th><th>径</th><th>施工箇所</th><th>備考</th></tr> <tr> <td>たてどい</td><td>・硬質ポリ塩化ビニル管 ・ステンレス鋼管 ・ステンレス鋼管 ・硬質ポリ塩化ビニル管(カラー) ・ポリ塩化ビニル管(カラー) ・硬質ポリ塩化ビニル管</td><td></td><td></td><td>SUS304、厚2</td></tr> <tr> <td>軒どい</td><td>・硬質ポリ塩化ビニル</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> ロックウール保温筒及びフェノールフォーム保温筒のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 () 鋼管製といの防露巻き ・適用する(工法: 仕様表13.5.5による) ・適用しない とい受金物 ※ステンレス製 ・鋼製(亜鉛めっき) (13.5.2) (表13.5.3) ルーフトレン <table> <tr> <th>種別</th><th>施工箇所</th></tr> <tr> <td>・ろく屋根用(・縦型・横型)</td><td></td></tr> <tr> <td>・バルコニー用</td><td></td></tr> <tr> <td>・バルコニー中継用</td><td></td></tr> </table>	種別	材種	径	施工箇所	備考	たてどい	・硬質ポリ塩化ビニル管 ・ステンレス鋼管 ・ステンレス鋼管 ・硬質ポリ塩化ビニル管(カラー) ・ポリ塩化ビニル管(カラー) ・硬質ポリ塩化ビニル管			SUS304、厚2	軒どい	・硬質ポリ塩化ビニル				種別	施工箇所	・ろく屋根用(・縦型・横型)		・バルコニー用		・バルコニー中継用		
施工箇所	樹種	寸法	等級	形状	含水率	備考																																																																																																																																																															
			※2級		※A種・B種																																																																																																																																																																
			※2級																																																																																																																																																																		
施工箇所	樹種	寸法	等級	形状	含水率	備考																																																																																																																																																															
額縁 開口枠	スプルース	図示	2級	図示	※A種・B種																																																																																																																																																																
施工箇所	樹種	寸法	等級	形状	含水率	備考																																																																																																																																																															
			※1級		※A種・B種																																																																																																																																																																
			※1級																																																																																																																																																																		
施工箇所	樹種	寸法	造作材の材面の品質	防虫処理	難燃処理	含水率	備考																																																																																																																																																														
			() 造作材の場合 (※A種・B種)	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	※A種・B種 ・	・																																																																																																																																																														
施工箇所	樹種	寸法	見付け材面の等級	備考																																																																																																																																																																	
		※1等	・2等	・																																																																																																																																																																	
施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の等級	備考																																																																																																																																																															
					※1等	・2等 ・																																																																																																																																																															
施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法	化粧薄板の厚さ(mm)	備考																																																																																																																																																																
					・																																																																																																																																																																
施工箇所	樹種	寸法	見付け材面の品質	含水率	備考																																																																																																																																																																
				※A種・B種	・																																																																																																																																																																
施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	備考																																																																																																																																																														
						※A種・B種 ・																																																																																																																																																															
種別	材種	径	施工箇所	備考																																																																																																																																																																	
たてどい	・硬質ポリ塩化ビニル管 ・ステンレス鋼管 ・ステンレス鋼管 ・硬質ポリ塩化ビニル管(カラー) ・ポリ塩化ビニル管(カラー) ・硬質ポリ塩化ビニル管			SUS304、厚2																																																																																																																																																																	
軒どい	・硬質ポリ塩化ビニル																																																																																																																																																																				
種別	施工箇所																																																																																																																																																																				
・ろく屋根用(・縦型・横型)																																																																																																																																																																					
・バルコニー用																																																																																																																																																																					
・バルコニー中継用																																																																																																																																																																					
3 造作用集成材	「集材材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成材 <table> <tr> <th>施工箇所</th><th>化粧薄板の樹種</th><th>芯材の樹種</th><th>寸法</th><th>化粧薄板の厚さ(mm)</th><th>見付け材面の等級</th><th>備考</th></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>※1等</td><td>・2等 ・</td></tr> </table> 「集材材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成材 <table> <tr> <th>施工箇所</th><th>化粧薄板の樹種</th><th>芯材の樹種</th><th>寸法</th><th>化粧薄板の厚さ(mm)</th><th>備考</th></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>・</td></tr> </table> 「集材材の日本農林規格」以外の造作用集成材 <table> <tr> <th>施工箇所</th><th>樹種</th><th>寸法</th><th>見付け材面の品質</th><th>含水率</th><th>備考</th></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>※A種・B種</td><td>・</td></tr> </table> 「集材材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材 <table> <tr> <th>施工箇所</th><th>化粧薄板の樹種</th><th>芯材の樹種</th><th>寸法</th><th>化粧薄板の厚さ(mm)</th><th>見付け材面の品質</th><th>含水率</th><th>備考</th></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>※A種・B種 ・</td><td></td></tr> </table>	施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の等級	備考						※1等	・2等 ・	施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法	化粧薄板の厚さ(mm)	備考						・	施工箇所	樹種	寸法	見付け材面の品質	含水率	備考					※A種・B種	・	施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	備考							※A種・B種 ・		2 大断面集成材工事																																																																																																													
施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の等級	備考																																																																																																																																																															
					※1等	・2等 ・																																																																																																																																																															
施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法	化粧薄板の厚さ(mm)	備考																																																																																																																																																																
					・																																																																																																																																																																
施工箇所	樹種	寸法	見付け材面の品質	含水率	備考																																																																																																																																																																
				※A種・B種	・																																																																																																																																																																
施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	備考																																																																																																																																																														
						※A種・B種 ・																																																																																																																																																															

12

1

あと施工アンカーの確認試験

2

鉄鋼の亜鉛めっき

3

軽量鉄骨天井下地

4

軽量鉄骨壁下地

5

金属成形板張り

6

アルミニウム製笠木

(14. 1. 3 (b) (4)) による確認試験を行う。(14. 1. 3)

(14. 2. 3) (表14. 2. 2)

表面処理方法	種別	施工箇所 (手すり、タラップ以外)
溶融亜鉛めっき	・ A 種	
	・ B 種	
	・ C 種	
電気亜鉛めっき	・ A 種	
	・ B 種	
	・ C 種	

野縁等の種類 (14. 4. 2～4)

屋外 (※25形・19形) 屋内 (※19形・25形)

・屋外の軒天井、ピロティ天井等

工法

建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法

※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1・1.15・1.3) 倍の風圧力に対応した工法)

・適用しない

野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔

※900程度・ ()

周辺部の端からの間隔

※図示による・ ()

野縁の間隔

※300程度・ ()

・補強 ※図示による・ ()

・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合

補強方法 ※図示による・ ()

・天井のふとところが1.5m以上3.0m以下の場合

補強方法 ※標仕14. 4. 4 (h) (1)～(2) による・図示による

・天井のふとところが3.0mを超える場合

補強方法 ※図示による・ ()

・天井下地材における耐震性を考慮した補強

補強箇所 ※図示による・ ()

補強方法 ※図示による・ ()

スタッド、ランナーの種類 (14. 5. 3) (表14. 5. 1)

(表14. 5. 1) によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ※図示による

スタッドの高さが5.0mを超える場合 ※図示による・ ()

材種	・アルミニウム・ ()
製法	※押出し・プレス・ロール
寸法	板幅 ※100・ () 板厚※1.0・ ()
形状	・スパンドレル形 パネル形
表面処理等	B-1 種・C-1 種 ・B-2 種・C-2 種

伸縮調整継手・設ける・設けない

部材の種類・250形・300形・350形・100形
・板折り曲げ形 (本体幅 mm)

板厚 (mm)※2・ ()

(14. 6. 2～3) (表14. 2. 1)

・A-1・A-2・B-1・B-2・C-1・C-2・D

被膜等の種類 ※標仕表14. 2. 1による・ ()

着色 ()

13

1

仕上塗材仕上げ

・薄付け仕上塗材

(15. 5. 2)

呼び名	防火材料	仕上げの形状等
・外装薄塗材 S i	・	・砂壁状
・可とう形外装薄塗材 S i	・	・ゆず肌状 (・吹付け・ローラー塗)
・外装薄塗材 E	・	・さざ波状
・可とう形外装薄塗材 E	・	・平たん状
・防水形外装薄塗材 E	・	・凹凸状 (・吹付け・こて塗)
・外装薄塗材 S	・	・着色骨材砂壁状
・内装薄塗材 C	・	・ (・吹付け・こて塗)
・内装薄塗材 L	・	・砂壁状じゅらく
・内装薄塗材 S i	・	・京壁状じゅらく
・内装薄塗材 E	・	・吸放湿性・適用する・適用しない
・内装薄塗材 W	・	・耐湿性・適用する・適用しない

・複層仕上塗材

呼び名	防火材料	仕上げの形状等
・複層塗材 C E	・	・ゆず肌状・凸部処理・凹凸模様
・可とう形複層塗材 C E	・	
・複層塗材 S i	・	上塗り材
・複層塗材 E	・	耐候性 ※耐候形3種
・複層塗材 R E	・	溶媒 ※水系・溶剤系
・防水形複層塗材 C E	・	樹脂 ※アクリル系
・防水形複層塗材 E	・	外観 ※つやあり・つやなし
・防水形複層塗材 R E	・	・メタリック
・防水形複層塗材 R S	・	増塗材・適用する・適用しない

・軽量骨材仕上塗材

呼び名	防火材料	仕上げの形状等
・吹付用軽量塗材	・	
・こて塗用軽量塗材	・	

2

A L Cパネルの場合の下地処理

内壁目地部の形状 ※V形目地付き・ () (15. 5. 4)

3

マスチック塗料塗り

種別・A種・B種 (仕上材塗り: E P-G ※B種・A種) (15. 6. 2)

4

ロックウール吹付け

(15. 8. 2～4)

種 類	色 彩	吹 付 け 厚 さ
・一般用・ ()	・着色・原色	・10・15・20・25

14

1

アルミニウム製建具

2

網戸等

3

樹脂製建具

4

鋼製建具

5

鋼製軽量建具

6

ステンレス製建具

7

木製建具

性能等級

(16. 2. 2) (16. 2. 4) (16. 2. 5) (表16. 2. 1)

外部に面する建具	・ A 種・B 種・C 種
防音ドアセット、防音サッシ	・適用する 遮音性の等級 () ・適用しない
断熱ドアセット、断熱サッシ	・適用する 断熱性の等級 () ・適用しない
耐震ドアセット	・適用する 面内変形追随性の等級 () ・適用しない

枠の見込み寸法・建具表による

表面処理

外部に面する建具・B-1 種・B-2 種・ ()

皮膚等の種類 (※標仕表14. 2. 1による・)

着色 ()

屋内の建具・C-1 種・C-2 種・ ()

皮膚等の種類 (※標仕表14. 2. 1による・)

着色 ()

結露水の処理方法 ※図示による・ ()

水切り板、ぜん板 ※図示による・ ()

(16. 2. 3)

種類	材種	線径	網目
・防虫網	・合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス (S U S 3 1 6) 製	・0.25mm以上 ・ ()	・16～18メッシュ ・ ()
・防鳥網	ステンレス (S U S 3 0 4) 線材	1.5mm	網目寸法15mm

性能等級

(16. 3. 5)

外部に面する建具・A 種・B 種・C 種

防音ドアセット、防音サッシ・適用する 遮音性の等級 (・T-1・T-2)

・適用しない

断熱ドアセット、断熱サッシ・適用する 断熱性の等級 (・H-4・H-5)

・適用しない

耐震ドアセット・適用する 面内変形追随性の等級 ()

・適用しない

性能等級

(16. 2. 2) (16. 4. 2～4) (表16. 4. 2)

簡易気密型・適用する・適用しない

外部に面する建具の耐風圧性・S-4・S-5・S-6

防音ドアセット、防音サッシ・適用する 遮音性の等級 ()

・適用しない

断熱ドアセット、断熱サッシ・適用する 断熱性の等級 ()

・適用しない

耐震ドアセット・適用する 面内変形追随性の等級 ()

・適用しない

鋼板

材料	めっき量	厚さ
・J I S G 3 3 0 2 (溶融亜鉛めっき鋼板)	※Z12又はF12	・16.4.2による
・J I S G 3 3 1 7 (溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板)	※Y08	

性能等級

(16. 2. 2) (16. 5. 2～4)

簡易気密型・適用する・適用しない

外部に面する建具の耐風圧性・S-4・S-5・S-6

防音ドアセット、防音サッシ・適用する 遮音性の等級 ()

・適用しない

断熱ドアセット、断熱サッシ・適用する 断熱性の等級 ()

・適用しない

耐震ドアセット・適用する 面内変形追随性の等級 ()

・適用しない

鋼板 ※亜鉛めっき鋼板・ビニル被膜鋼板・カラー鋼板

鋼板の厚さ・標仕表16. 5. 1による

召合せ、縦小口包み板等の材質 ※ステンレス鋼板・鋼板

性能等級

(16. 2. 2) (16. 4. 2) (16. 6. 2～4)

簡易気密型・適用する・適用しない

外部に面する建具の耐風圧性・S-4・S-5・S-6

防音ドアセット、防音サッシ・適用する 遮音性の等級 ()

・適用しない

断熱ドアセット、断熱サッシ・適用する 断熱性の等級 ()

・適用しない

耐震ドアセット・適用する 面内変形追随性の等級 ()

・適用しない

鋼板 (屋外) ※SUS430JIL、SUS443J1、SUS304・ ()

鋼板 (屋内) ※SUS430、SUS430JIL、SUS443J1、SUS304・ ()

表面仕上げ ※HL仕上げ・鏡面仕上げ

ステンレス鋼板の曲げ加工 (16. 5. 6)

※普通曲げ・角出し曲げ (補強あり)

建具材の加工、組立時の含水率 ※B種・ () (16. 7. 2～4)

・フラッシュ戸

表面材の合板の種類

合板の種類	規格等	備考
※普通合板	表面の樹種 生地、透明塗料塗り (※ラワン程度・) 不透明塗料塗り (※しな程度・) 板面の品質 接着の程度 (・1類・2類)	
・天然木化粧合板	樹種名 () 接着の程度 (・1類・2類)	
・特殊加工化粧合板	化粧加工の方法 (・オーバーレイ・プリント・塗装) 表面性能 () タイプ 接着の程度 (・1類・2類)	

表面板の厚さ ※標仕表16. 7. 6による・ ()

15

8

建具用金物

9

鍵箱

10

自動ドア開閉機構

11

自閉式上吊り引戸装置

12

重量シャッター

13

軽量シャッター

標準型建具

(16. 4. 6)

・マスターキー ※製作する (※新規・既存にあわせる)・製作しない

○シリンダー箱錠

○レバーハンドル

○ドアクローザー

標準型建具以外の建具 (表16. 8. 1) (16. 8. 2)

・マスターキー・製作する (※新規・既存にあわせる)・製作しない

・シリンダー箱錠

・レバーハンドル

・握り玉

・本締り錠

・空錠

・SUS製引手

・落とし棒

・SUS製振れ止め金物

・点検口錠 (平面ハンドル錠)

・非常錠

・ ()

・ピボットヒンジ

・フロアヒンジ

・ヒンジクローザー (丁番形)

・ヒンジクローザー (ピボット形)

・ドアクローザー

・閉鎖順位調整器

・押棒、押板

・アームストッパー

・クレセント

・捺煙オペレーター

・レール

形式 (16. 8. 4)

・30本 (個)・120本 (個)

・60本 (個)・ () 本 (個)

鋼製既製品とし、監督員の承諾による。

(16. 9. 2～3)

自動ドア	性能	防錆	センサーの種類	凍結防止
・SSLD-1 ・SSLD-2 ・DSLD-1 ・DSLD-2 ・SWD-1 ・SWD-2 ・図示による	※標仕表16. 9. 1による・ () ※標仕表16. 9. 2による・ ()	・適用する ・適用しない	※光線 (反射) スイッチ ・熱線スイッチ ・音波スイッチ ・光電スイッチ ・タクトスイッチ ・押しボタンスイッチ ・ペダルスイッチ ・多機能トイレスイッチ	・行う (適用箇所は建具表による) ・行わない

駆動力 ※電気式または油圧式・ ()

補助モーター ※光電スイッチ1組・ ()

工事範囲 一次側配線は別途工事とし、開閉機構以降の二次側配線は本工事に含む。

性能 ※標仕表16. 10. 1による (16. 10. 2～3) (表16. 10. 1)

(16. 11. 2～4) (表16. 11. 1)

種類	シャッターケース	耐風圧強 (N/m ²)	開閉形式	備考
・一般重量シャッター ・外壁用防火シャッター ・屋内用防火シャッター ・屋内用防煙シャッター	・設ける ・設けない ※設ける	・50 ・80 ・120 ・ ()	※上部電動式 ・80 (手動併用) ・上部手動式 ・ ()	※危害防止機構 ※障害物感知装置 (自動閉鎖型) ・シャッターの二段降下方式

スラット及びシャッターケース用鋼板

鋼板の種類・J I S G 3 3 0 2 (溶融亜鉛めっき鋼板)

・J I S G 3 3 1 2 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板)

めっきの付着量・Z12又はF12・ ()

電動式の場合の電源・三相200V0.75kw以下 (過電流保護装置付)

・ ()

工事範囲 一次側配線は別途工事とし、開閉機構以降の二次側配線は本工事に含む。

(16. 12. 2～4)

開閉形式	シャッターケース	耐風圧強度 (N/m ²)
・手動式 ・上部電動式 (手動併用)	・設ける ・設けない	・50 ・65 ・80 ・

スラットの材質

・J I S G 3 3 1 2 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板)	めっき量
・J I S G 3 3 2 2 (塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板)	※Z06又はF06
	※A290

スラットの形状

ガイドレール・座金の材質	
・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形	※ステンレス (SUS304) ・溶融亜鉛めっき鋼板

電源・単相100V (過電流保護装置付)

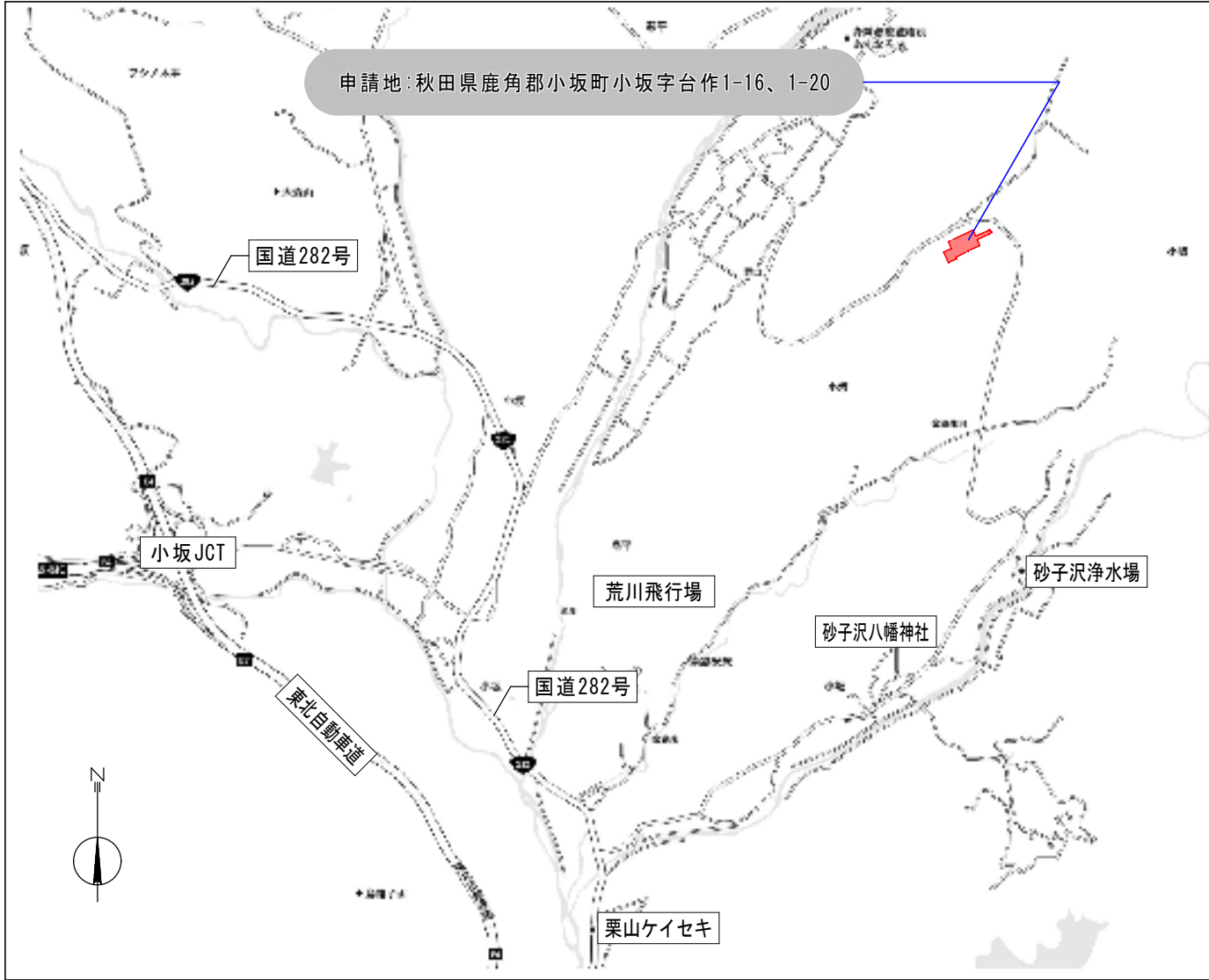
・ ()

工事範囲 一次側配線は別途工事とし、開閉機構以降の二次側配線は本工事に含む。

※障害物感知装置 (自動閉鎖型)

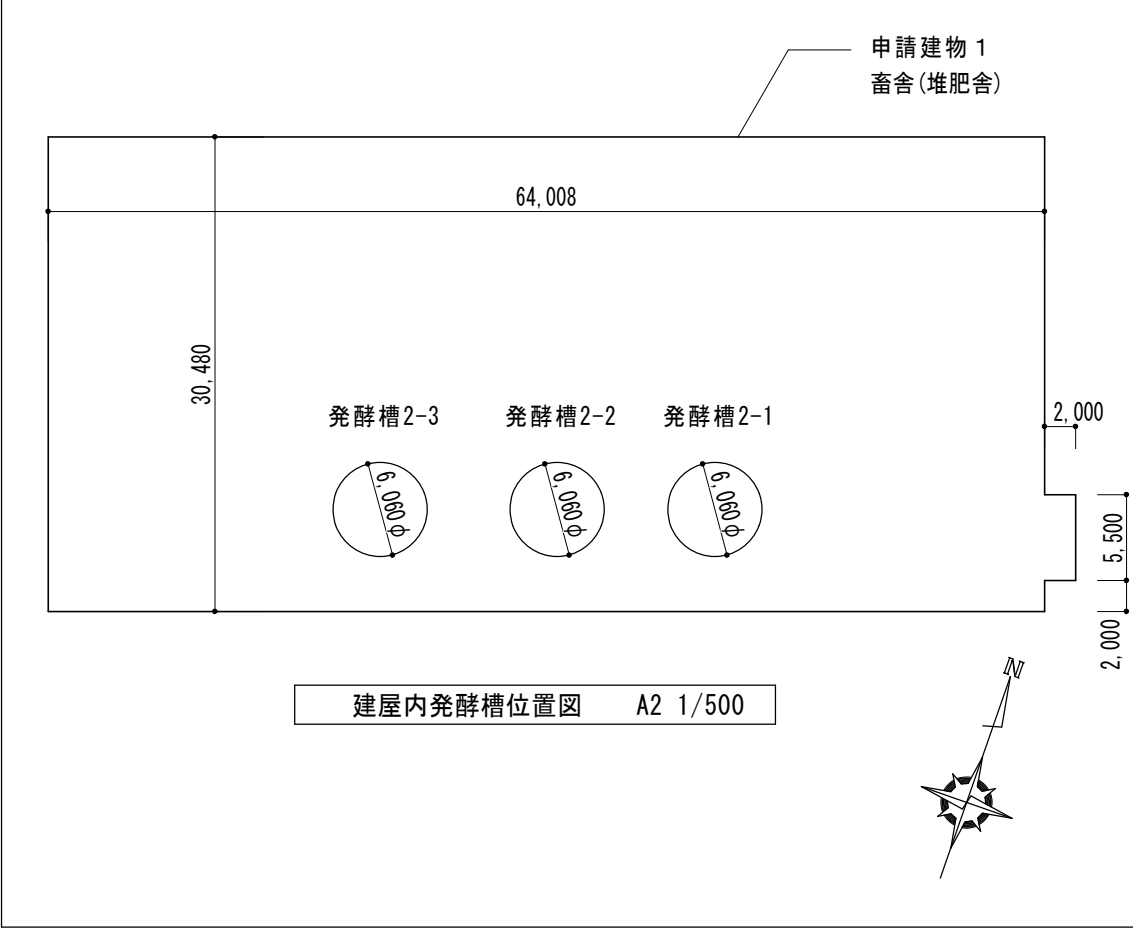
	今福設備設計 福岡県福岡市早良区田村4-18-32-105 TEL 092-834-6084 FAX 092-834-6084	一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-61618号	承認		構造		工事名 (株)ポーランド 糞処理施設新築工事	SIZE A2	NO. A-007
		一級建築士登録 第344237号	設計		製図		図名 建築工事特記仕様書 (6)	SCALE	DATE 2025.6
		今福 雄一							

	今福設備設計 福岡県福岡市早良区原3-6-5-702 TEL 092-776-1190 FAX 092-776-1190	一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-61618号	承認		構造		工事名 (株)ポーランド 糞処理施設新築工事	SIZE A 2	NO. A-008
		一級建築士登録 第344237号	設計		製図	図名 建築工事特記仕様書 (7)	SCALE	DATE 2025. 6	
		今福 雄一							

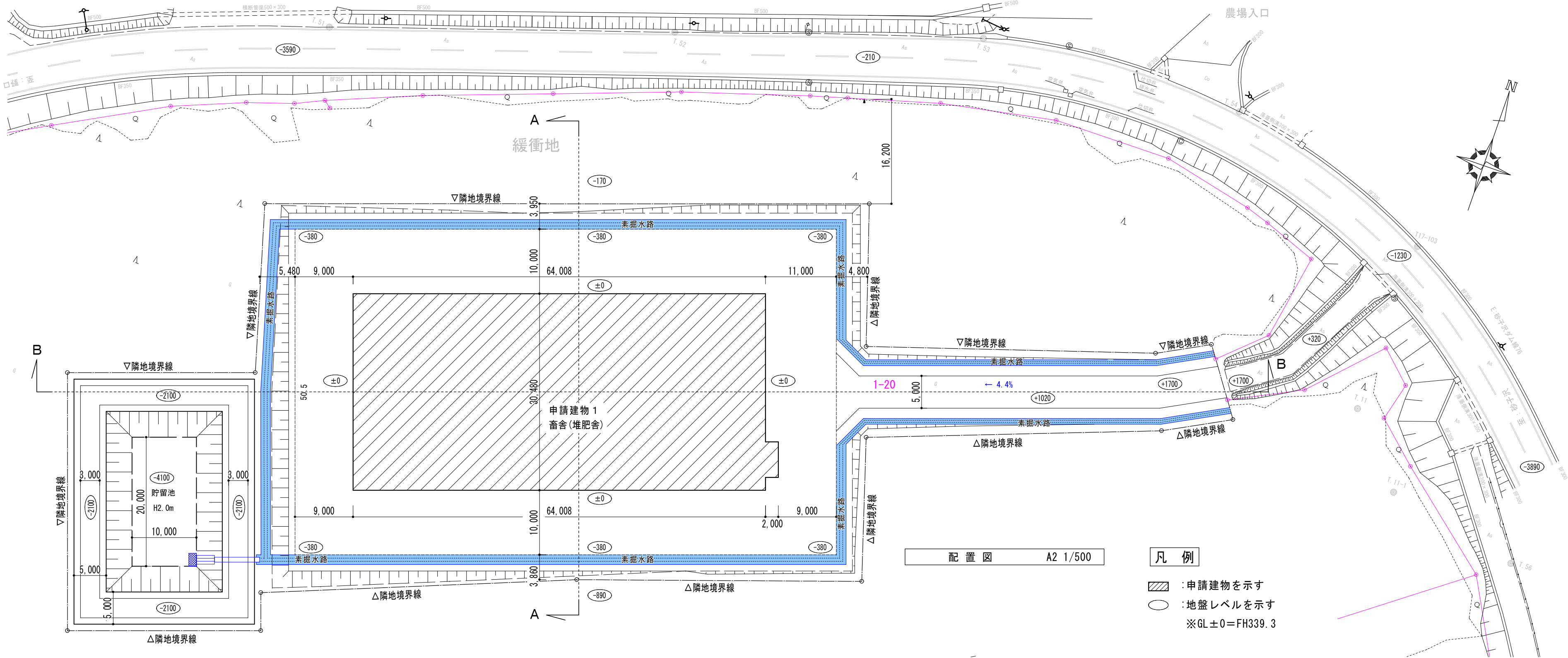


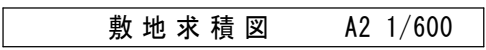
建築物概要			
申請建物①	主要用途	畜舎（堆肥舎）	
	工事種別	新 築	
	構造規模	膜構造（フレーム鉄骨）	
	耐火種別	その他の建築物	
	建築面積	1,961.96㎡	
	延床面積	1,961.96㎡	
	最高の軒高さ	—	
申請建物合計	最高の高さ	15,600mm	
	建築面積	1,961.96㎡	延床面積 1,961.96㎡

計画概要	
地名地番	秋田県鹿角郡小坂町小坂字台作1-16、1-20
都市計画区域	都市計画区域外
用途・防火地域	指定なし
主要用途	畜舎（堆肥舎）
工事種別	新 築
敷地面積	7,443.25㎡
建築面積	1,961.96㎡
延床面積	1,961.96㎡
建蔽率	$(1,961.96 / 7,443.25) \times 100 = 26.36\%$
容積率	$(1,961.96 / 7,443.25) \times 100 = 26.36\%$

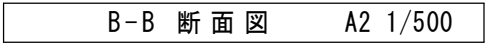


発 酵 槽 概 要		
発 酵 槽 2-1	主要用途	堆肥発酵槽（縦型密閉式）
	工事種別	新 設
	本体直径	6,060mm
	発酵槽面積	28.83㎡
	発酵槽容量	100m ³
発 酵 槽 2-2	本体高さ	8,520mm
	主要用途	堆肥発酵槽（縦型密閉式）
	工事種別	新 設
	本体直径	6,060mm
	発酵槽面積	28.83㎡
発 酵 槽 2-3	発酵槽容量	100m ³
	本体高さ	8,520mm
	主要用途	堆肥発酵槽（縦型密閉式）
	工事種別	新 設
	本体直径	6,060mm





A-A 断面图 A2 1/500



外 部 仕 上 表					
屋 根	テント用膜材料（ArmorShield Fabric） 同等品	※フレームは円弧アーチ型ラメンフレーム（ラフター） ※タスコットーム同等品	ブロー室 屋根	コンクリート打放し	
			ブロー室 外壁	コンクリート打放し	
外 壁	テント用膜材料（ArmorShield Fabric） 同等品	※フレームは円弧アーチ型ラメンフレーム（ラフター） ※タスコットーム同等品			
巾 木	コンクリート打ち放し				

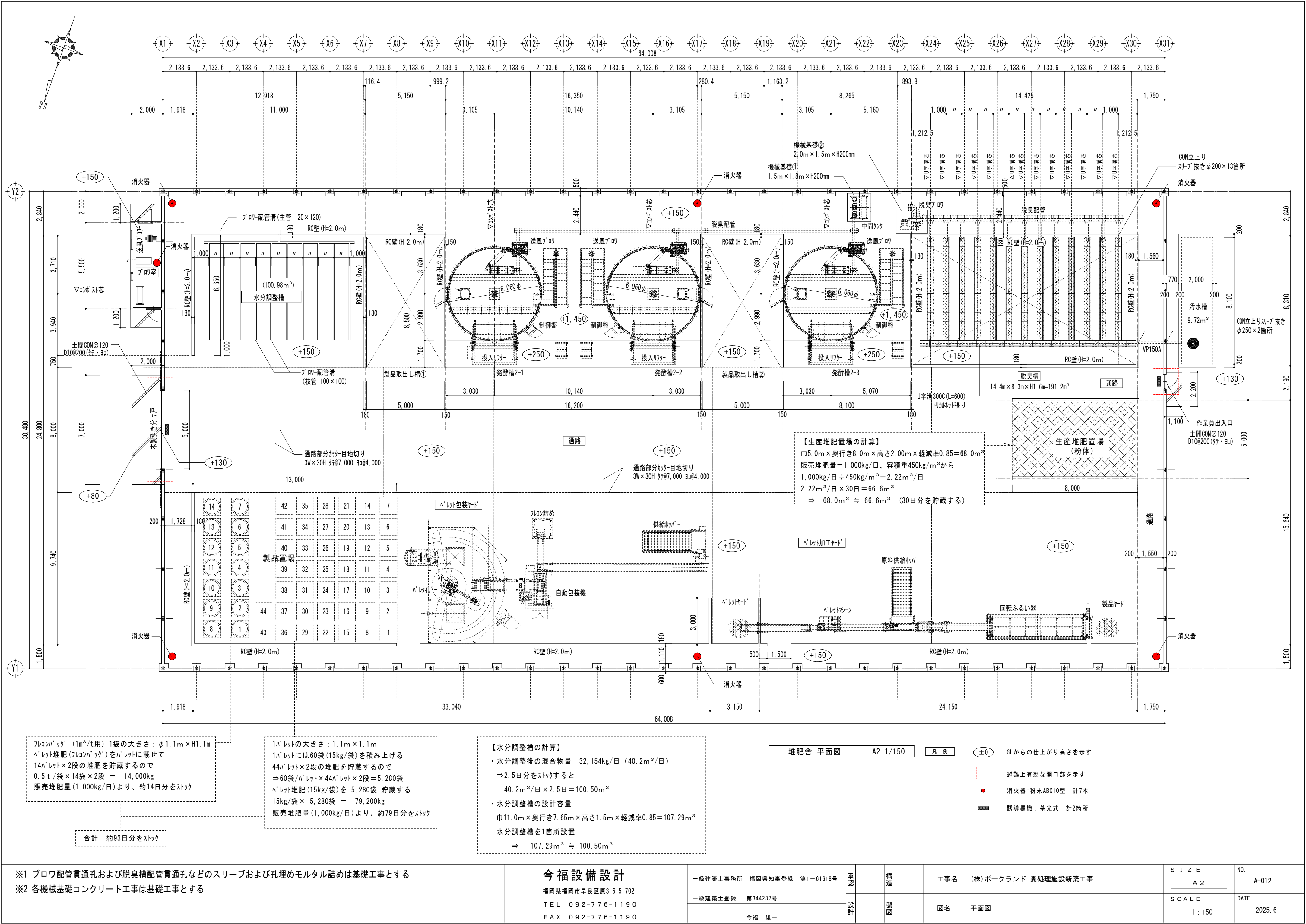
内 部 仕 上 表							
室 名	床	巾 木	腰 壁	壁	天 井	天井高	備 考
内部全般	コンクリート金ゴテ押え	コンクリート打放し	コンクリート打放し FL+2,000	外壁側：テントフレーム見出し	テントフレーム見出し	－	
	通路部分カッター目地切り 3W×30H タテ@7,000 ヱコ@4,000						
プロワ室	コンクリート金ゴテ押え	コンクリート打放し	コンクリート打放し	コンクリート打放し	コンクリート打放し	－	



種別	符号	縦	横	小計面積 (㎡)	面積 (㎡)
面積 計算	A	30.480	64.008	1,950.96	1,950.96
	B	5.500	2.000	11.00	11.00
面積 合計	延床面積 (A+B)				1,961.96㎡
	建築面積 (A+B)				1,961.96㎡

消防法による設置すべき消防用設備等のチェック						特例申請		消防法による計算	
建物延べ面積	用途	有窓階・無窓階	延べ面積による設置すべき消防用設備等			設置する消防用設備等	消 火 器 設 置		
		地階	対象物条件	設置すべき消防用設備等	設置判定				
1,961.96㎡	(15)項 事務所等 (その他事業所)	無窓階	延べ 面積	全部	誘導標識	設置	床面積 1,961.96㎡ 管轄消防署との事前協議により、 堆肥倉内 6本(粉末 10型) ブロワ室内 1本(粉末 10型) 計 7本 を設置する		
				300㎡	消火器具	設置			

今福設備設計 福岡県福岡市早良区原3-6-5-702 TEL 092-776-1190 FAX 092-776-1190	一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-61618号	承認		構造		工事名 (株)ポーランド 糞処理施設新築工事	SIZE A2	NO. A-011
	一級建築士登録 第344237号	設計		製図		図名 仕上表・建物求積図・消防法チェック表	SCALE 1/300	DATE 2025.6
	今福 雄一							



フロンパック (1m³/t用) 1袋の大きさ: φ1.1m×H1.1m
パレット堆肥(フロンパック)をパレットに載せて
14パレット×2段の堆肥を貯蔵するので
0.5t/袋×14袋×2段 = 14,000kg
販売堆肥量(1,000kg/日)より、約14日分をストック

1パレットの大きさ: 1.1m×1.1m
1パレットには60袋(15kg/袋)を積み上げる
44パレット×2段の堆肥を貯蔵するので
⇒60袋/パレット×44パレット×2段=5,280袋
パレット堆肥(15kg/袋)を 5,280袋 貯蔵する
15kg/袋×5,280袋 = 79,200kg
販売堆肥量(1,000kg/日)より、約79日分をストック

【水分調整槽の計算】
・水分調整後の混合物量: 32,154kg/日 (40.2m³/日)
⇒2.5日分をストックすると
40.2m³/日×2.5日=100.50m³
・水分調整槽の設計容量
巾11.0m×奥行き7.65m×高さ1.5m×軽減率0.85=107.29m³
水分調整槽を1箇所設置
⇒ 107.29m³ ≒ 100.50m³

堆肥舎 平面図 A2 1/150

- 凡例
- ±0 GLからの仕上がり高さを示す
 - 避難上有効な開口部を示す
 - 消火器: 粉末ABC10型 計7本
 - 誘導標識: 蓄光式 計2箇所

※1 ブロウ配管貫通孔および脱臭槽配管貫通孔などのスリーブおよび孔埋めモルタル詰めは基礎工事とする
※2 各機械基礎コンクリート工事は基礎工事とする

今福設備設計

福岡県福岡市早良区原3-6-5-702
TEL 092-776-1190
FAX 092-776-1190

一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-61618号

一級建築士登録 第344237号

今福 雄一

承認

設計

構造

製図

工事名 (株)ポークランド 糞処理施設新築工事

図名 平面図

SIZE

A2

NO.

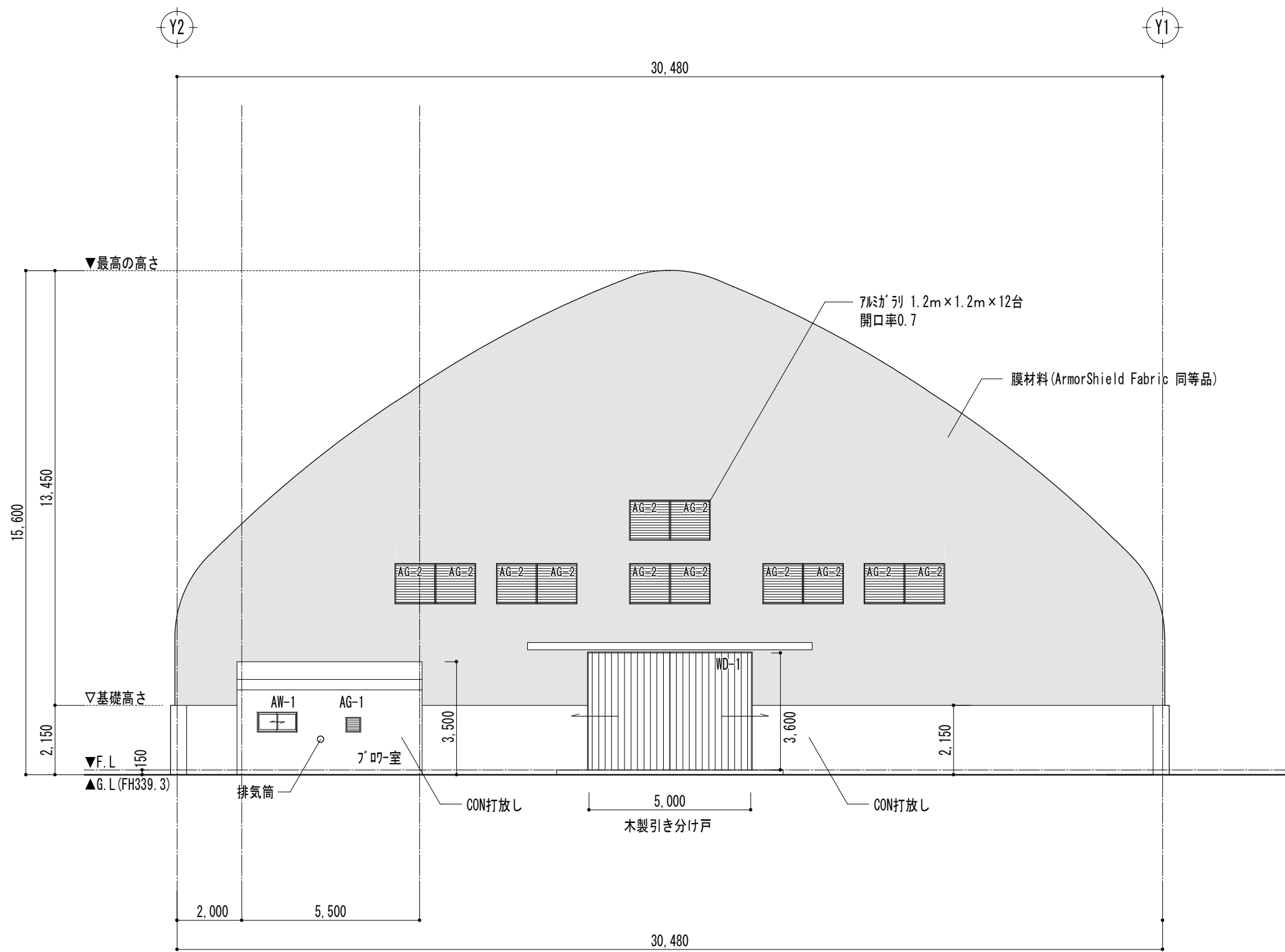
A-012

SCALE

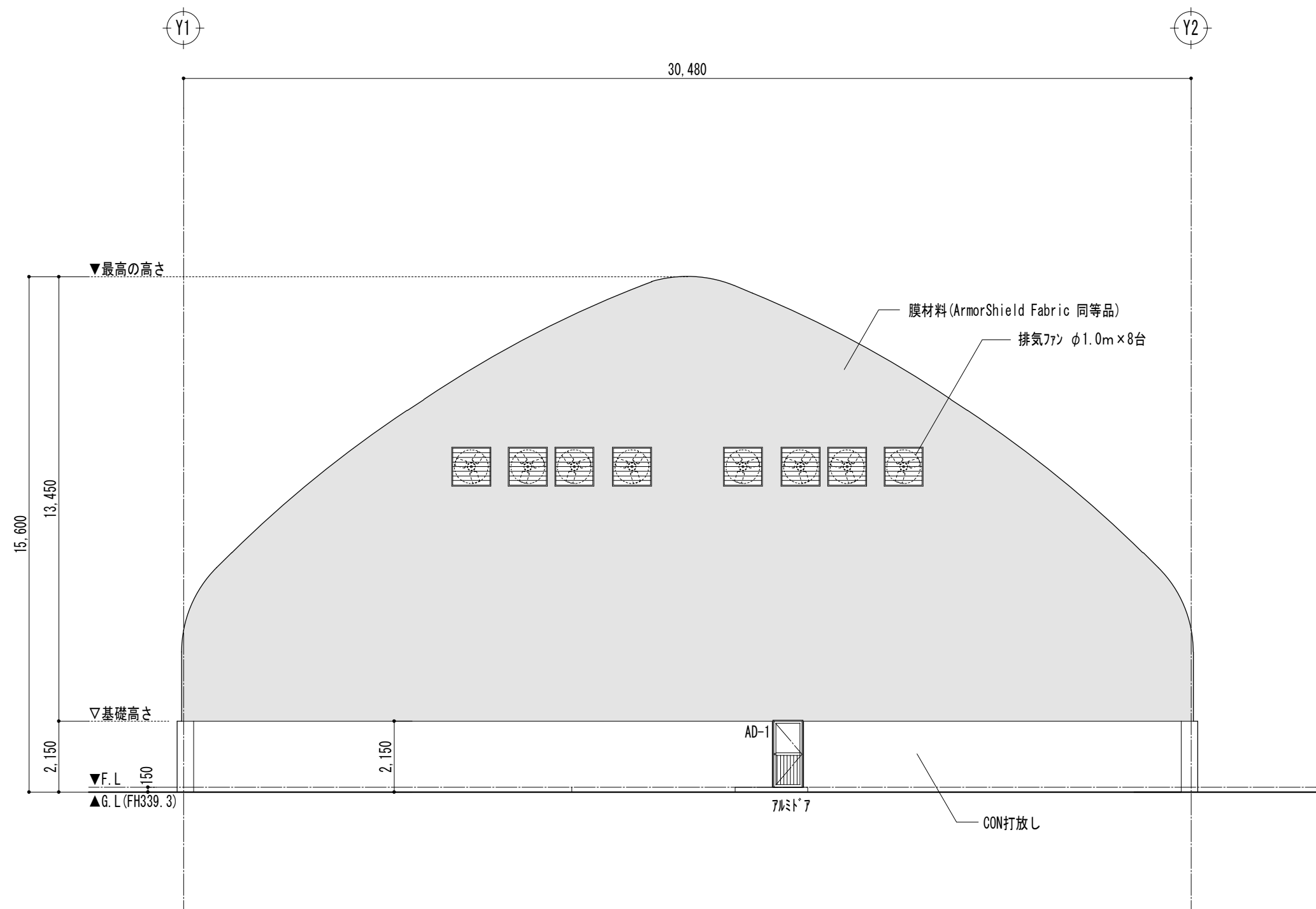
1:150

DATE

2025.6



東立面図 A2 1/150



西立面図 A2 1/150

今福設備設計

福岡県福岡市早良区原3-6-5-702
TEL 092-776-1190
FAX 092-776-1190

一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-61618号

一級建築士登録 第344237号

今福 雄一

承認

設計

構造

製図

工事名 (株)ポークランド 糞処理施設新築工事

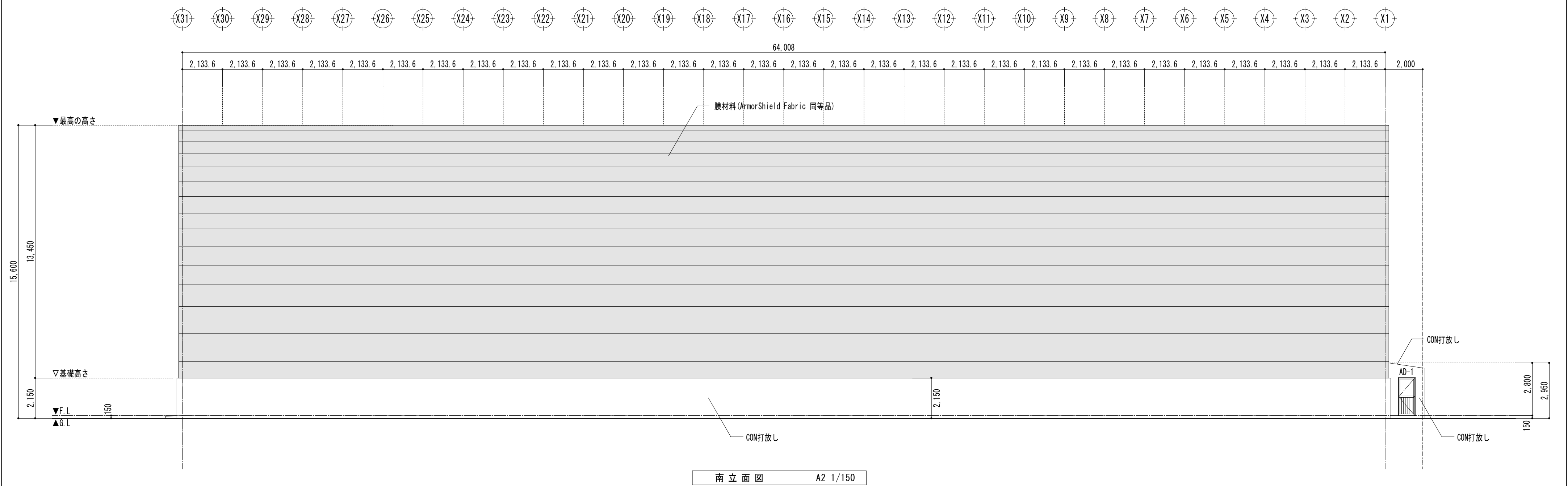
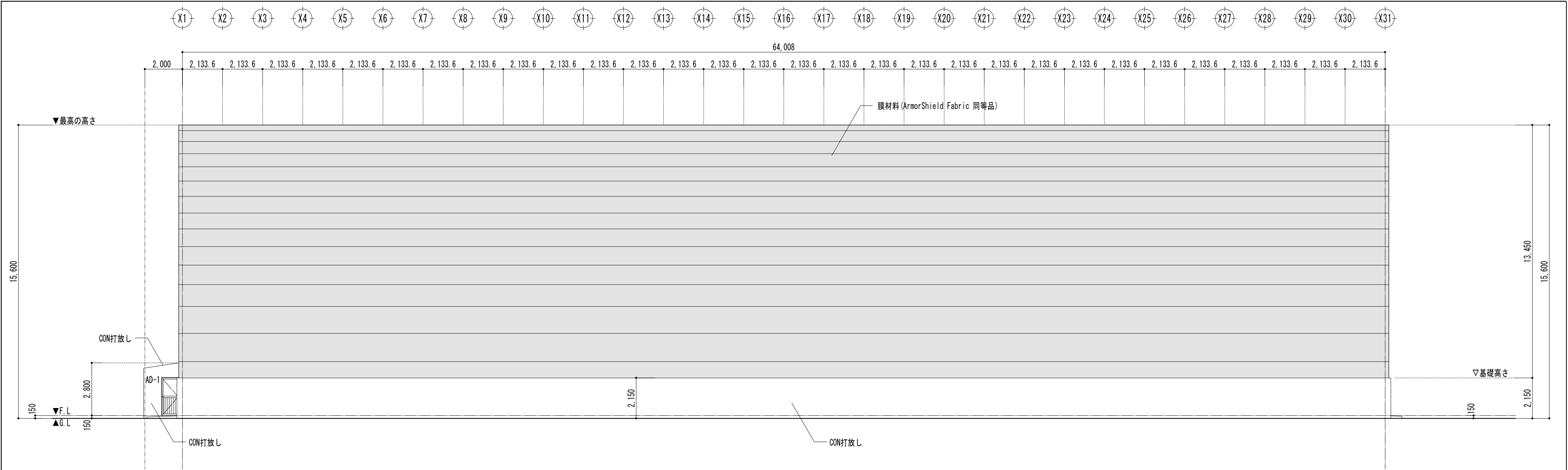
図名 立面図1

SIZE
A2

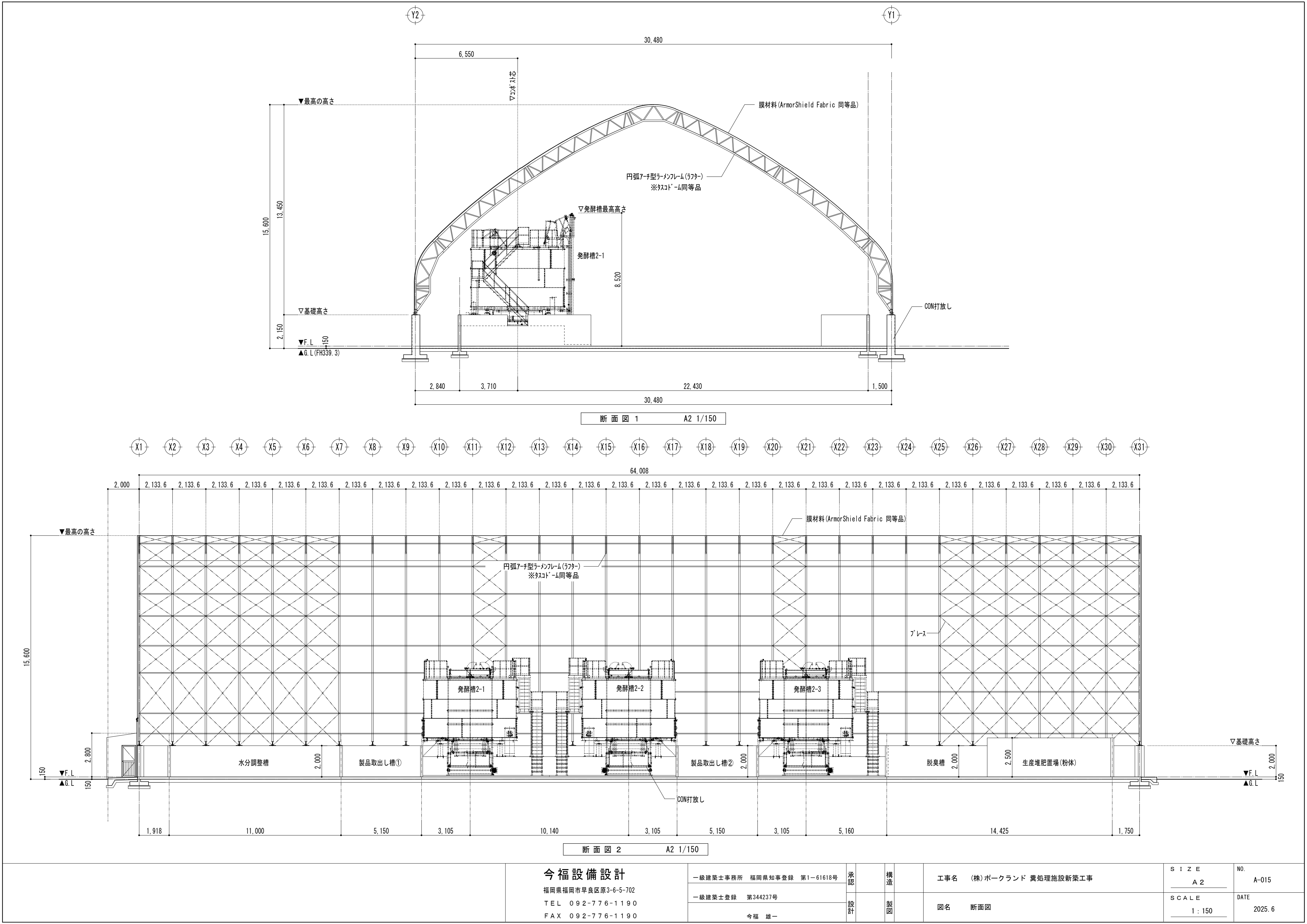
SCALE
1:150

NO.
A-013

DATE
2025.6



	今福設備設計 福岡県福岡市早良区原3-6-5-702 TEL 092-776-1190 FAX 092-776-1190	一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-61618号	承認	構造	工事名 (株)ポーランド 糞処理施設新築工事	SIZE A 2	NO. A-014	
		一級建築士登録 第344237号	設計	製図		図名 立面図 2	SCALE 1 : 150	DATE 2025. 6
		今福 雄一						



今福設備設計

福岡県福岡市早良区原3-6-5-702
TEL 092-776-1190
FAX 092-776-1190

一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-61618号

一級建築士登録 第344237号

今福 雄一

承認

設計

構造

製図

工事名 (株) ポークランド 糞処理施設新築工事

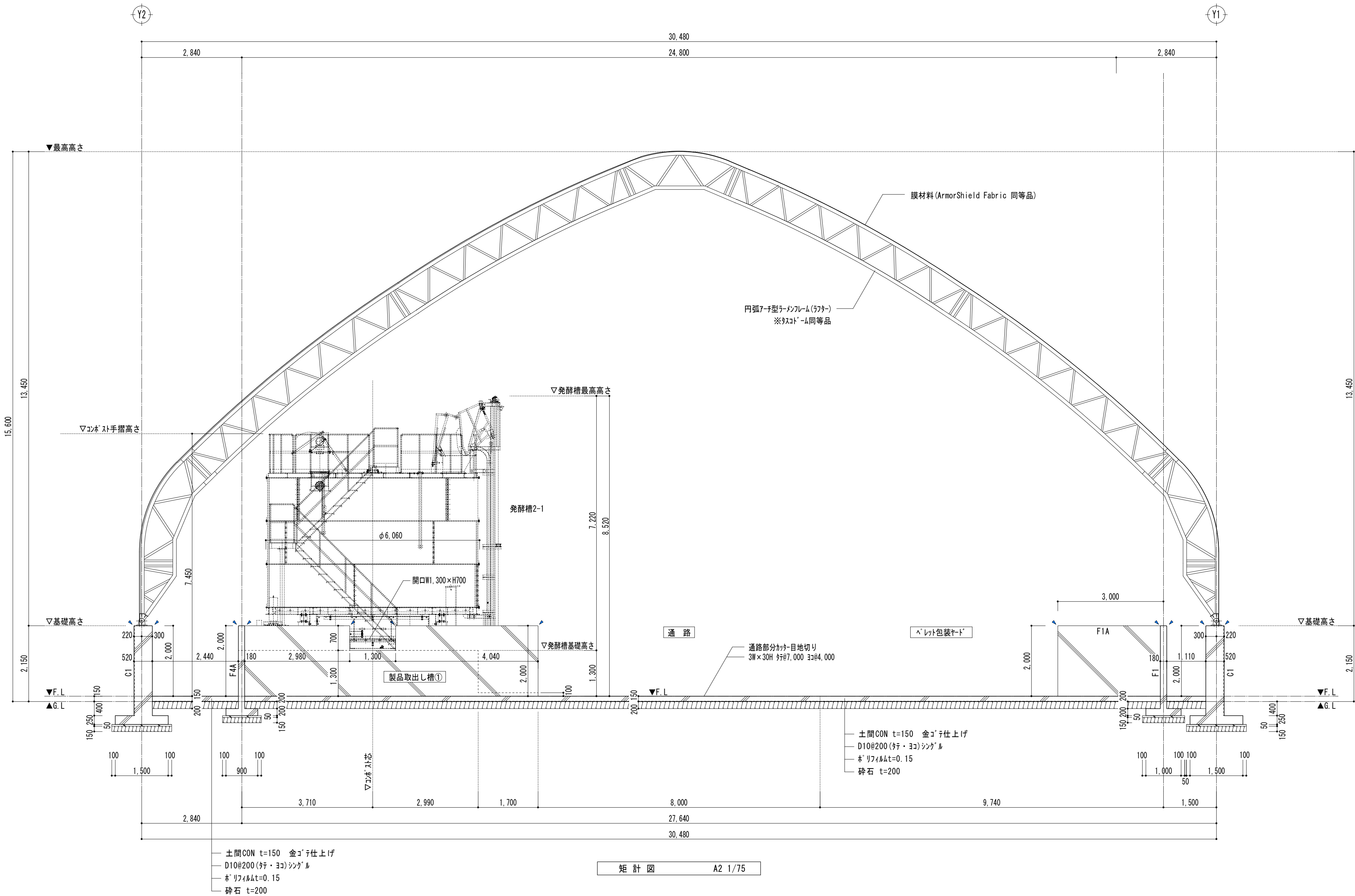
図名 断面図

SIZE
A2

SCALE
1:150

NO.
A-015

DATE
2025.6



矩 計 図 A2 1/75

土間CON t=150 金ゴテ仕上げ
D10@200 (短・ヨコ) シングル
鉄リライル t=0.15
砕石 t=200

土間CON t=150 金ゴテ仕上げ
D10@200 (短・ヨコ) シングル
鉄リライル t=0.15
砕石 t=200

凡 例

面取り部分を示す

今福設備設計

福岡県福岡市早良区原3-6-5-702
TEL 092-776-1190
FAX 092-776-1190

一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-61618号

一級建築士登録 第344237号

今福 雄一

承認

設計

構造

製図

工事名 (株) ポークランド 糞処理施設新築工事

図名 矩計図

SIZE

A2

NO.

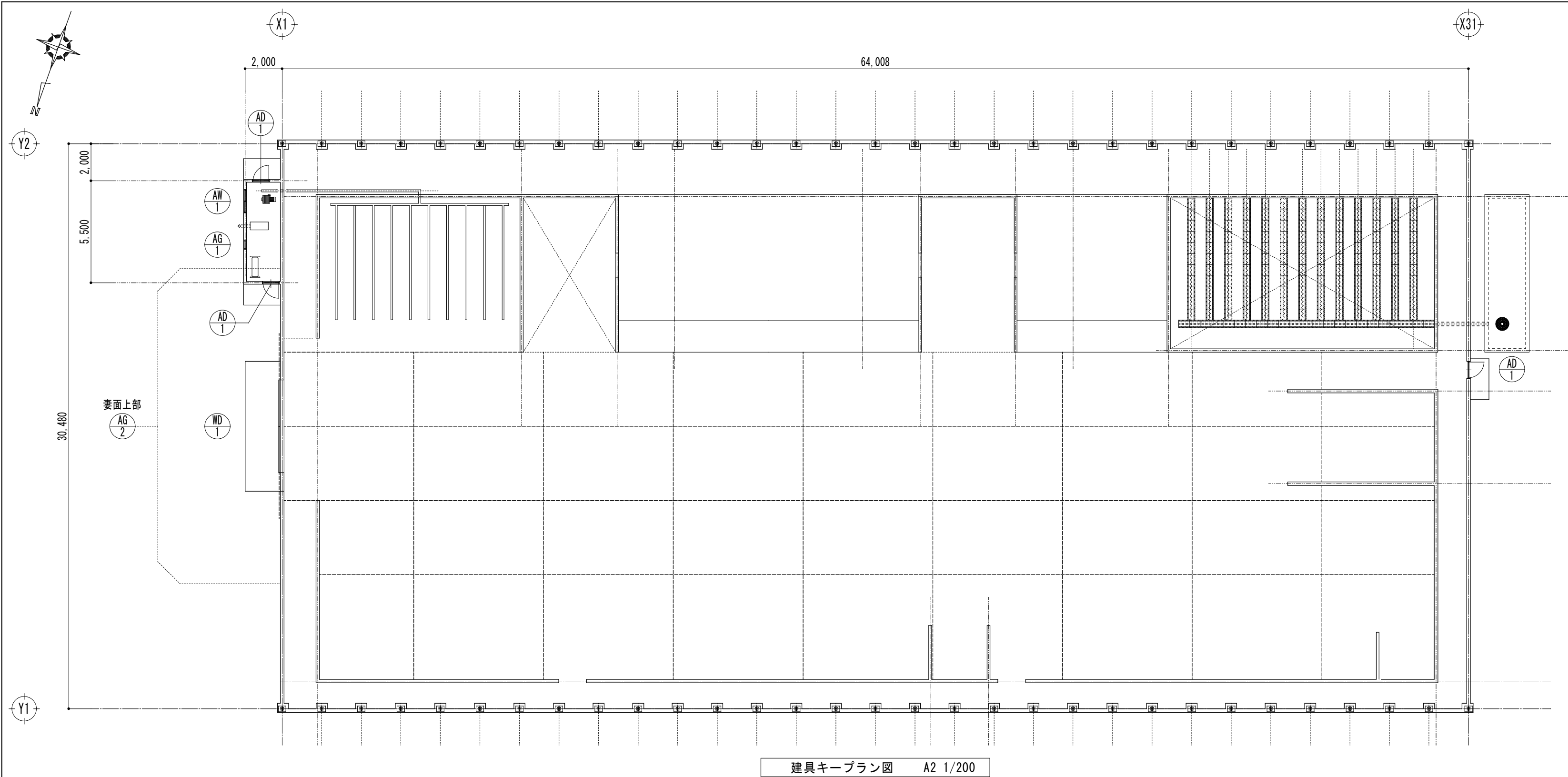
A-016

SCALE

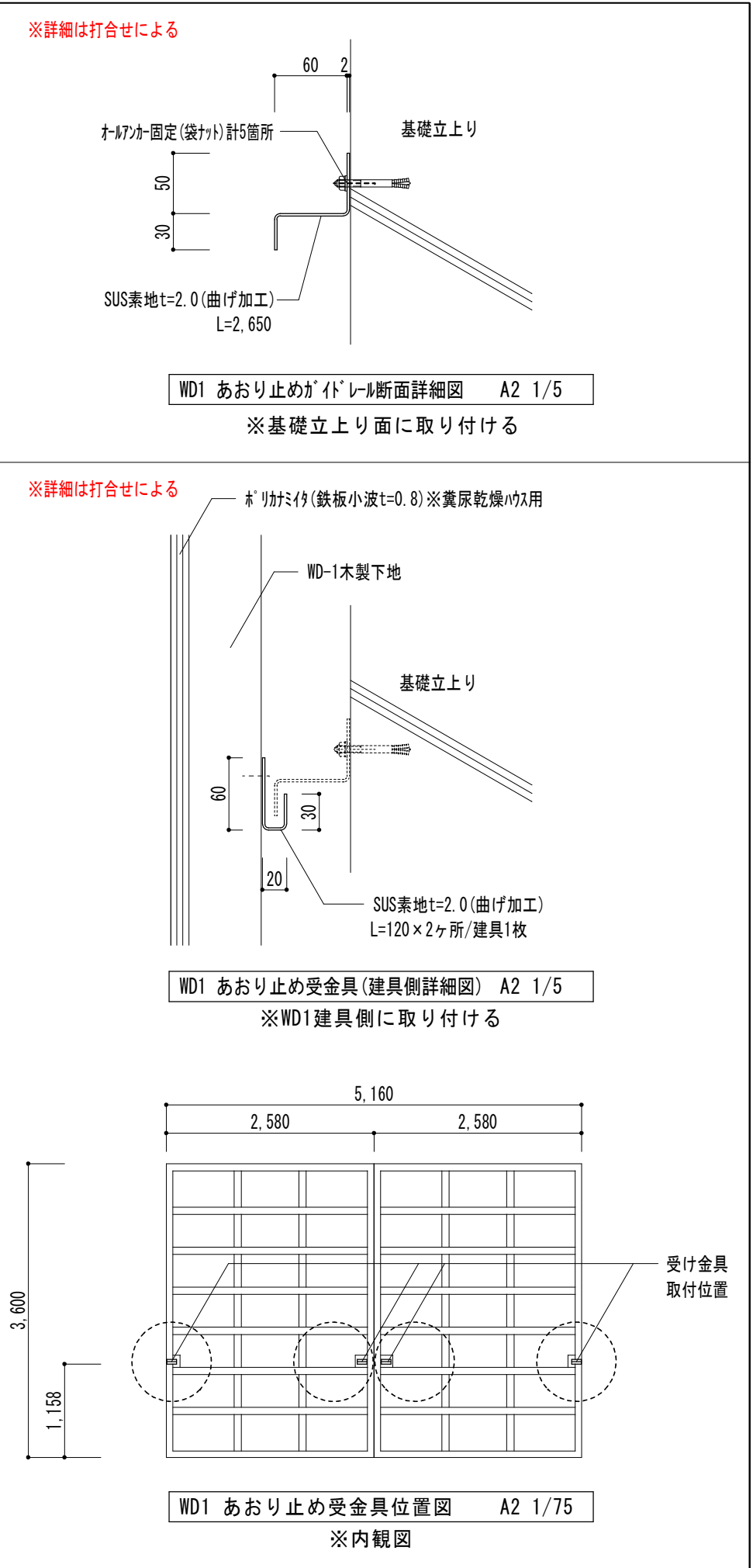
1:75

DATE

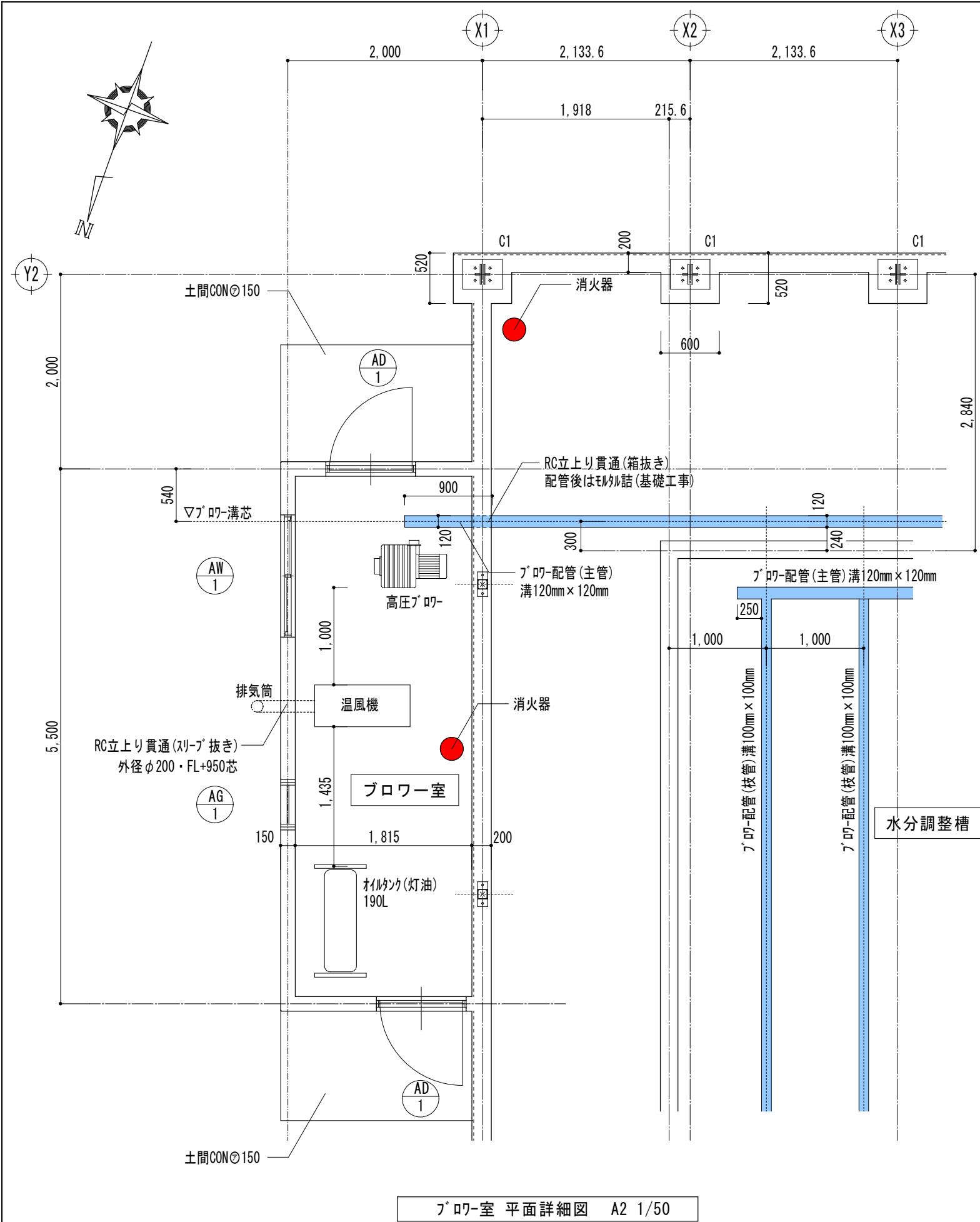
2025.6



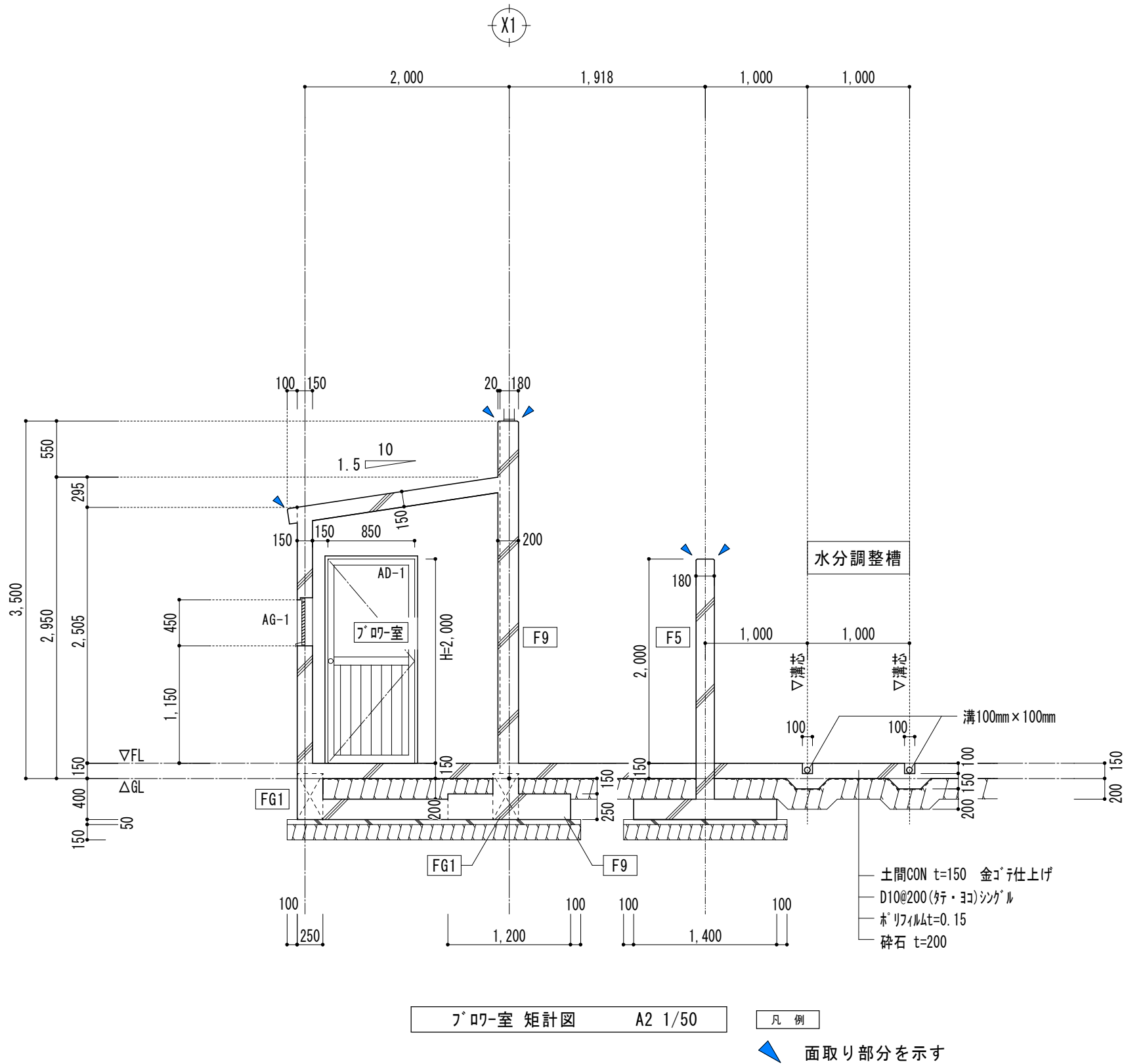
建具キープラン図 A2 1/200



建 具 表										
符 号	AD 1	3ヶ所	AW 1	1ヶ所	AG 1	1ヶ所	AG 2	12ヶ所	WD 1	1ヶ所
姿 図										
	ΔFL		ΔFL		ΔFL		ΔFL		ΔFL	
材料 仕上げ	片開き7&ミ7		引違い7&ミ窓		7&ミガラス		7&ミガラス		上吊り式引き分けハーフ ドア 木製フレーム+ホリカミイタ(鉄板小波t=0.8)張り ※糞尿乾燥用	
ガラス	上部:フロート板ガラス t=3.0 下部:7&ミガラス		透明ガラスt=4.0		開口率0.5		開口率0.7		あおり止めガイドレール SUS板t=2.0曲げ加工 L=2,650	
金 物	アングル, 丁番, ドアチェック, SUS下枠, シリンダー錠		アングル, 7&ミ水切, クレセント, 網戸		防水仕様・防虫網付き		防水仕様・防虫網付き		錠なし、SUS製上吊りレール、引手、あおり止めガイドレール・受け金具、丸棒落とし、その他付属部品一式	
その他	既成品		既製品		既成品		既成品		木製フレームは保護塗料塗布	

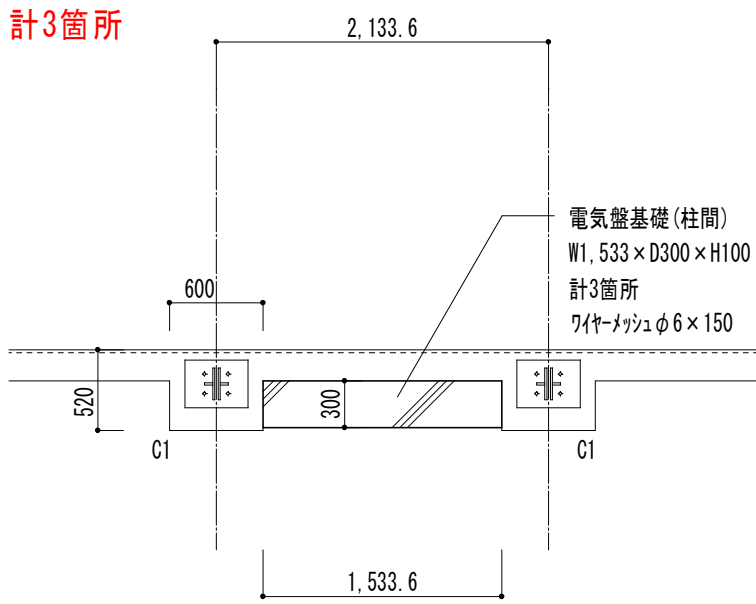


ブロー室 平面詳細図 A2 1/50

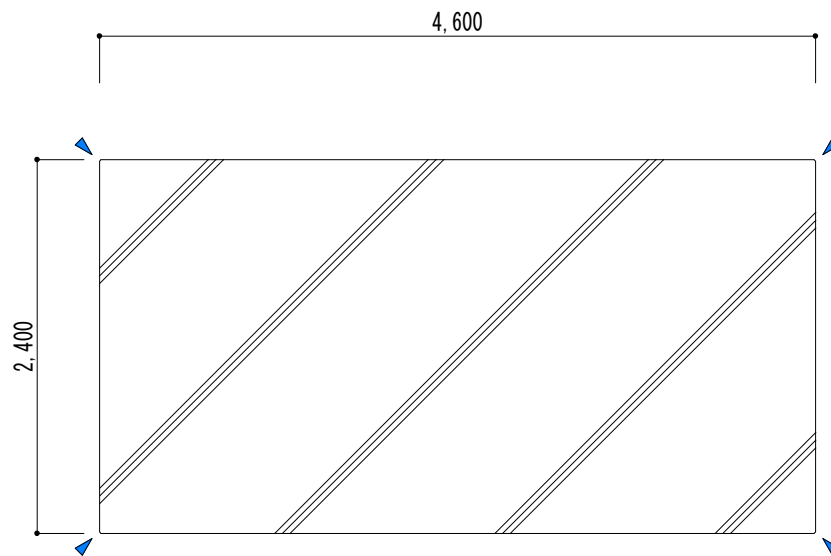


ブロー室 矩計図 A2 1/50

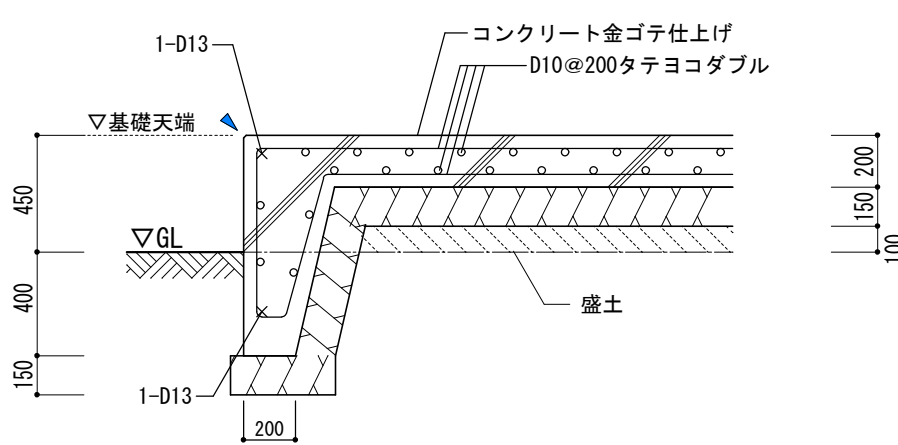
凡 例
面取り部分を示す



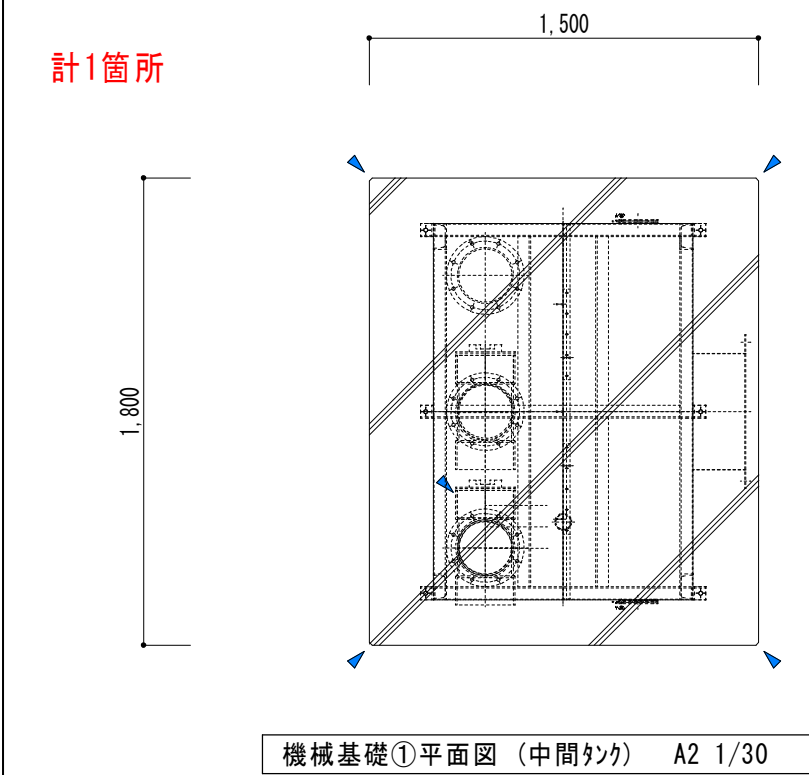
電気盤基礎詳細図 A2 1/50



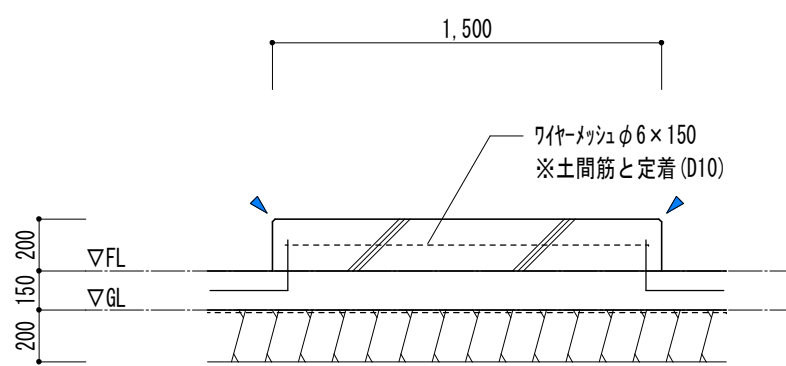
キュービクル基礎平面寸法図 A2 1/30



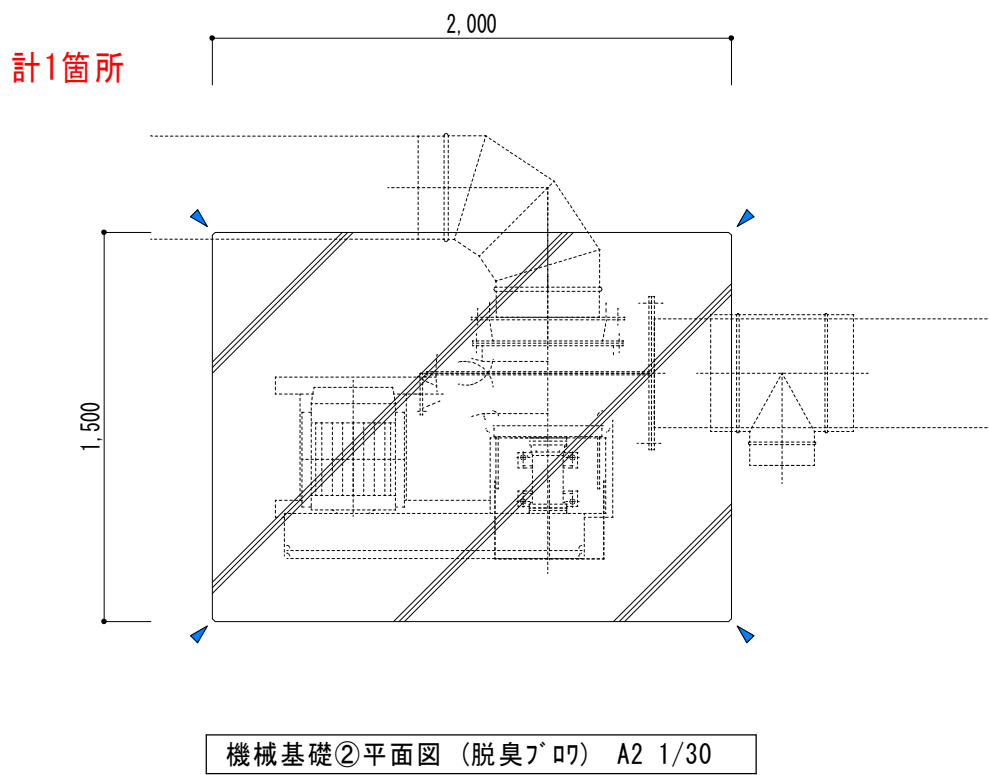
キュービクル基礎断面詳細図 A2 1/30



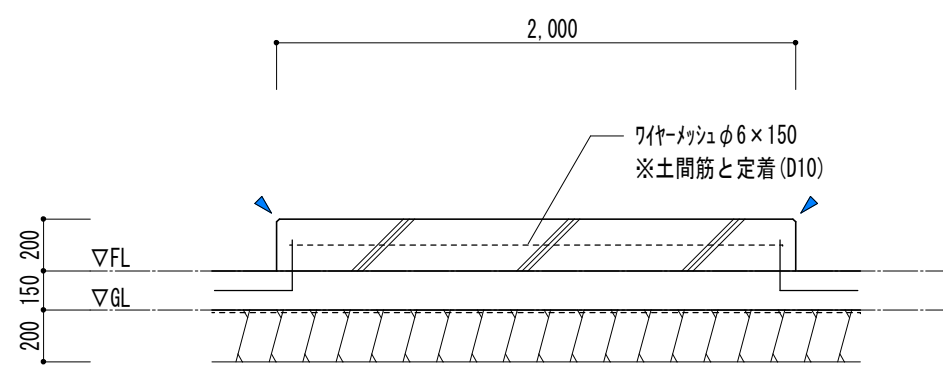
機械基礎①平面図 (中間タンク) A2 1/30



機械基礎①断面図 (中間タンク) A2 1/30



機械基礎②平面図 (脱臭ブロー) A2 1/30



機械基礎②断面図 (脱臭ブロー) A2 1/30

※1 ブロー配管貫通孔および脱臭槽配管貫通孔などのスリーブおよび孔埋めモルタル詰めは基礎工事とする
※2 各機械基礎コンクリート工事は基礎工事とする

凡 例
面取り部分を示す

今福設備設計

福岡県福岡市早良区原3-6-5-702
TEL 092-776-1190
FAX 092-776-1190

一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-61618号

一級建築士登録 第344237号

今福 雄一

承認

設計

構造

製図

工事名 (株)ポークランド 糞処理施設新築工事

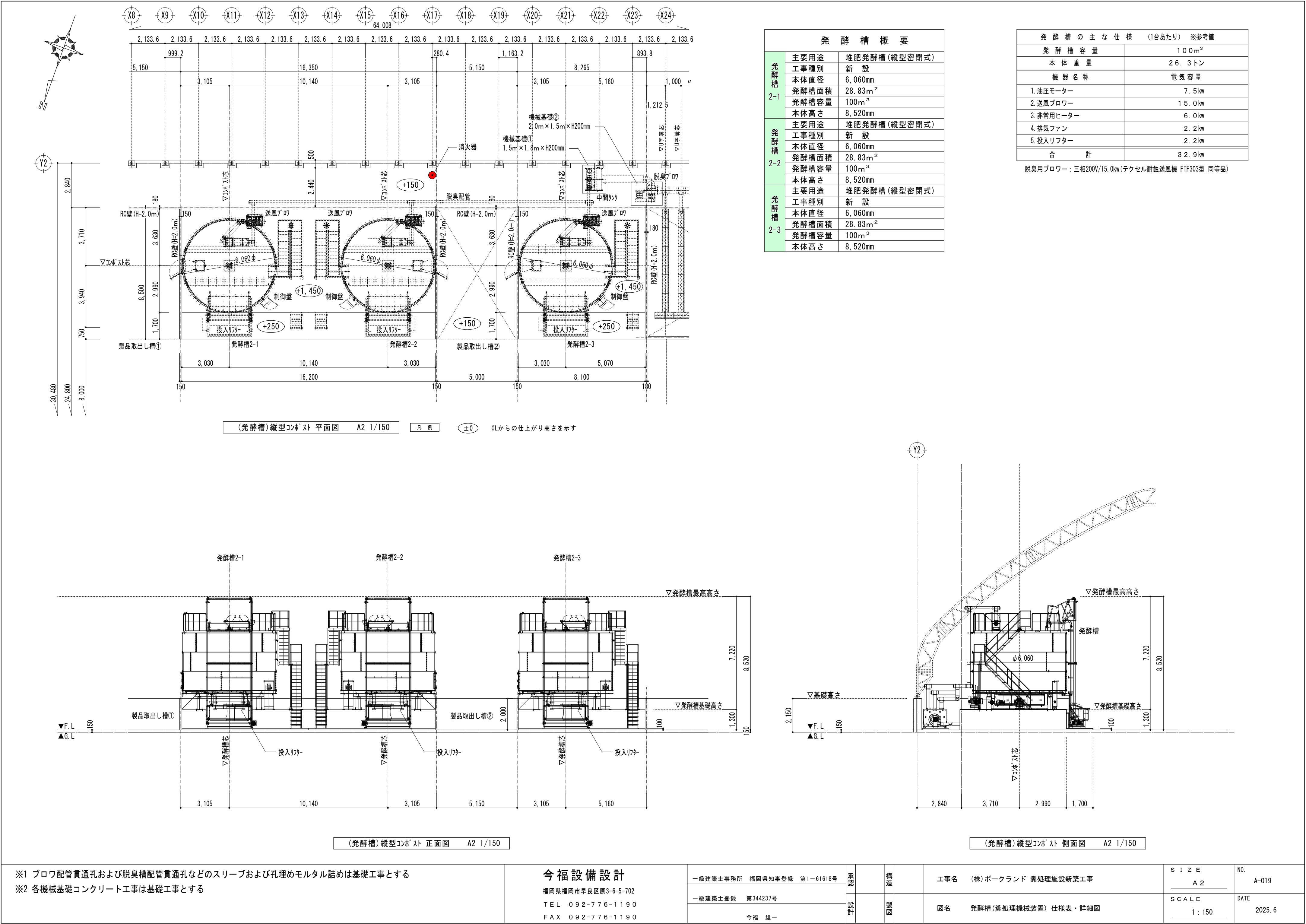
図名 ブロー室詳細図, 機械設備基礎詳細図

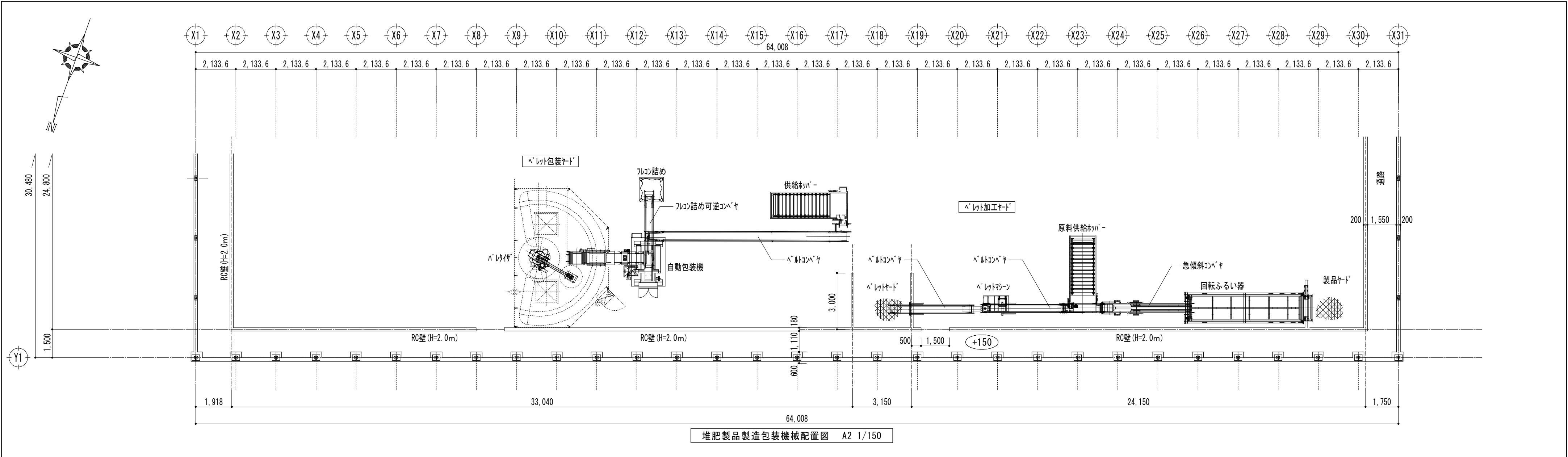
SIZE
A2

SCALE
1/30・1/50

NO.
A-018

DATE
2025.6





堆肥製品製造包装機械リスト表

機 器 リ ス ト 表				機 器 リ ス ト 表					
品 名	規 格	数 量	備 考	品 名	規 格	数 量	備 考		
原料供給ホッパ－	供給ホッパ－：3m ³	1台	分電盤以降の電気工事(2次側)を含む，1次側電気は別途	フレコン詰め計量器	デジタル台秤，SUS製，1200×1200，1.5 t	1台	分電盤以降の電気工事(2次側)を含む，1次側電気は別途		
(篩器用)	TM-HPK-3（同等品），架台：塗装品				KMD1.5T（同等品）				
篩器投入コンベヤ	急傾斜コンベヤ	1台	分電盤以降の電気工事(2次側)を含む，1次側電気は別途	床送風ブロー－	高風圧送排風機 TB-500E（同等品）	1式	分電盤以降の電気工事(2次側)を含む，1次側電気は別途		
	KMX35-6.03 L型（同等品）				モータータンパ－MD-270-200（同等品）共				
回転ふるい機	L=6.0m，網目2種類，下部三方壁付 塗装品	1台	分電盤以降の電気工事(2次側)を含む，1次側電気は別途	温風機	小型温風機 KA-125E(同等品）	1式	分電盤以降の電気工事(2次側)を含む，1次側電気は別途		
	TM-KF-6（同等品）				灯油用オイルタンク共				
ペレットマシン投入コンベヤ	KMVA35-5（同等品）	1台	分電盤以降の電気工事(2次側)を含む，1次側電気は別途						
ペレット取出しコンベヤ	KMVA35-5（同等品）	1台	分電盤以降の電気工事(2次側)を含む，1次側電気は別途						
ペレットマシン	処理能力：最大1,000kg/h	1式	分電盤以降の電気工事(2次側)を含む，1次側電気は別途						
	TM-PM1000（同等品）								
原料供給ホッパ－	供給ホッパ－：3m ³	1台	分電盤以降の電気工事(2次側)を含む，1次側電気は別途						
(袋詰め用)	TM-HPK-3（同等品），架台：塗装品								
篩器投入コンベヤ	クライマーコンベヤ L=8.0m	1台	分電盤以降の電気工事(2次側)を含む，1次側電気は別途						
(自動包装機用)	KML400（同等品）								
可逆コンベヤ	可逆コンベヤ	1台	分電盤以降の電気工事(2次側)を含む，1次側電気は別途						
(自動包装機・フレコン用)	KMVA35-4（同等品）								
自動包装機	3CM52G（同等品）	1式	分電盤以降の電気工事(2次側)を含む，1次側電気は別途						
	エアコンプレッサ(7.5P-9.5VP5)，集塵機(VNA-30)，エアドライヤー(HDN-30BG)共								
	※いずれも同等品								
ロレットハレットサイザー	フジエスⅡ-2型（同等品）	1台	分電盤以降の電気工事(2次側)を含む，1次側電気は別途						
ラッピングマシン	フィルム巾500mm，NLAP-1（同等品）	1台	分電盤以降の電気工事(2次側)を含む，1次側電気は別途						
今福設備設計 福岡県福岡市早良区原3-6-5-702 TEL 092-776-1190 FAX 092-776-1190				一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-61618号	承認	構造	工事名 (株)パークランド 糞処理施設新築工事	S I Z E A 2	NO. A-020
				一級建築士登録 第344237号	設計	製図	図名 堆肥製品製造包装機械詳細図	S C A L E 1 : 150	DATE 2025. 6
				今福 雄一					

構造設計標準仕様

適用は ☒ 印を記入する。

1. 建築物の構造内容

(1) 工事名称 株式会社パークランド 糞処理施設新築工事

工事場所 秋田県鹿角郡小坂町小坂字台作1-16、1-20

(2) 工事種別 ☒新築 ☐増築 ☐増改築 ☐改築

(3) 構造種別

☐木造 (W) ☐補強コンクリートブロック造 (CB) ☐鉄骨造 (S)

☐鉄筋コンクリート造 (RC) ☐壁式鉄筋コンクリート造 (WRC)

☐鉄骨鉄筋コンクリート造 (SRC) ☐壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造 (WPRC)

☐プレキャスト鉄筋コンクリート造 (PRC) ☒その他 膜構造

(4) 階 数 地下 0階 地上 1階

(5) 主要用途 堆肥舎

(6) 屋上付属物

☐広告塔 ☐高架水槽 ton ☐

☐煙 突 ☐キュービクル ton ☐

(7) 増築計画 ☐有 () ☒無

(8) 付帯工事

☐門塙 ☐擁壁 ☐

☐

(9) 特別な荷重

☐エレベータ 台 ☐リフト ton ☐クレーン 2ton 2台

☐倉庫積載床用 kN/m² ☐受水槽 ton

(10) 構造計算ルート

X方向ルート 1 Y方向ルート 1

2. 使用構造材料

(1) コンクリート F _q =F _c +3N/mm ² とする				
適用箇所	種 類	設計基準強度 F _c (N/mm ²)	スランプ (cm)	備 考
捨コンクリート	☒ 普通	□15、 ☒ 18	15	
土間コンクリート	☒ 普通	☒ 18、□21、□24	15	
基礎、基礎梁	☒ 普通	☒ 18、□21、□24、□27、□30	15	
柱、梁、床、壁	☒ 普通、 ☐ 軽量	□18、□21、□24、□27、□30		
デッキ上床	☐ 普通、 ☐ 軽量	□18、□21、□24		
押えコンクリート	☐ 普通、 ☐ 軽量	□18、□21、□24		
充填コンクリート	☐ 普通、 ☐ 軽量	□18、□21、□24		

(2) コンクリートブロック (CB)

☐A種 ☐B種 ☐C種 厚□100、 □120、 □150、 □190、

(3) 鉄 筋				
	種 類	径	使用箇所	継手工法
異形鉄筋	☒ SD295A	D10～D13		☒ 重ね継手
	☐ SD295B			
	☐ SD345	D19～		☐ ガス圧接継手
	☐ SD390			
丸 鋼	☐ SR235			☐ 特殊継手
溶接金鋼	☐			()

鋼 材	種 類	使用箇所	現場溶接	設計溶接強度	備 考
	☐ SS400、 ☐ STKR400		☐ 有 ☒ 無	☒ 0.9F、□1.0F	
	☐ SN490C		☐ 有 ☒ 無	☒ 0.9F、□1.0F	
	☐ SNR400B、 ☐ SN490B		☐ 有 ☒ 無	☒ 0.9F、□1.0F	
	☐ STKN400B、 ☐ STKN490B		☐ 有 ☒ 無	☒ 0.9F、□1.0F	
	☐ BCR295、 ☐ BCP325		☐ 有 ☒ 無	☒ 0.9F、□1.0F	

(5) ボルト

☐高力ボルト □F10T □F8T □S10T □認定品 (□M12、□M16、□M20、□M22)

☐中ボルト φ=12mm φ=16 高力ボルトすべり係数試験 ☐要 ☐否

☒アンカーボルト 注) 柱脚のｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄはSS400とする。 ナット (シングル、ダブル)

□ジャストベース

□頭付スタッド SS400 φ=19 L=100,120mm

(6) 屋根、床、壁

使用箇所

☐ALC板 t=100

☐折 板 H=88mm 厚 0.8mm

☐デッキプレート QL99-75-12 山左 (7)90

☐キーストンプレート 型式 厚

☐特殊デッキプレート アイルーフ75 t=1.2

☐畜産波板 t= ☒ガルバ鋼板 t=0.27(屋根・外壁)

3. 地盤

(1) 地盤調査資料

☐有 (□数地内 □近隣)

☐ボーリング調査 ☐平板載荷試験 ☐水平地盤反力係数の測定

☒SS試験

■無 (調査予定) ■有 ☐無 ☐

(2) 地盤調査計画

☐ボーリング調査 ☐静的貫入試験 ☐標準貫入試験 ☐水平地盤反力係数の測定

☐土質試験 ☐物理探査 ☐平板載荷試験 ☐

(3) 地盤調査及び試験杭の結果により、杭長、杭種、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある

4. 地業工事

(1) 直接基礎 ☐ベタ基礎 ☒布基礎 ☐独立基礎 独立堀 ☐有 ☐無

深さG-L=0.70m 長期許容支持力度 30kN/m² 載荷試験 ☐有 ☒無

(2) 杭基礎 支持層ー G.L- 13.3m			
杭 種	材 料	施 工 法	備 考
☐ PRC ☐ PC ☐ PHC ☐ H鋼 ☐ 鋼管 ☐ 摩擦杭 ☐ 地盤改良杭	PRC (□I種 □II種 □III種) PHC (□A種 □B種 □C種) 鋼材□SS400 □STK400 □D種	☐ 打ち込み ☐ 埋込み (セメントミルク工法) ☐ プレボーリング拡大根固め工法 ☐	
☐ 場所打ちコンクリート杭	水セメント比 60%以下 単位水量 200kg/m ³ 単位セメント量 330kg/m ³ 鉄 筋 主 筋 SD345、SD390 HOOP SD295A	☐ オールケーシング ☐ 拡底杭 ☐ リバースサーキュレーション ☐ アースドリル ☐ ミニアース ☐ BH ☐ 深基礎 ☐ 手掘 ☐ 機械掘	拡底杭 日本建築センター認定 第 号 年 月 日

杭仕様 ☐施工計画書承認 ☐杭施工結果報告書

試験杭 (☐有・☐無) (☐打ち込み・☐載荷) 本

杭径 (mm)	設計支持力 (kN)	杭の先端の深さ (m)	本数	特記事項

注) 拡底径は施工径を示す。施工径は設計径+100とする。

5. 鉄筋コンクリート工事

(1) ・コンクリート

☒ コンクリートはJIS認定工場の製品とし施工に関しては新JASS5 (1997年版)による

☒ 構造体の総合耐久性は標準とする

☒ 水セメント比は65%以下とし単位水量<185kg/m³ 単位セメント量>270kg/m³

☒ セメントは、JIS R5210の普通ポルトランドセメントを標準とする。

☒ 調査計画は、工事開始前に工事監理者の承認を得ること。

☒ 寒中、暑中、その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当る場合は、調査、打ち込み、養生、管理方法など必要事項について、工事監理者の承認を得ること。

☐ 工事に先立ち工事監理者立会いで試験練りを行う

☒ フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で (財) 国土開発技術研究センターの技術評価をうけた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び側定器の表示部を1回の測定ごとに撮影した写真 (カラー) を保管し承認を得る。

測定検査の回数は、通常の場合、1日1回以上とし、1回の検査における測定試験は、同一試料から取り分けて3回行い、その平均値を試験値とする。

☒ 構造体コンクリート現場の圧縮強度試験供試体 (JASS5T-603) は、現場水中養生、または現場封かん養生とし、採取は打ち込み区ごと、打ち込み日ごととする。また、打ち込み量が150㎡をこえる場合は150㎡ごとまたは、その端数ごとに1回を標準とする。1回に採取する供試体は、適当な間隔をおいた3台の運搬車からその必要本数を採取する。なお、供試体の数量は、特別指示なき場合は1回当り12本以上とし、そのうち4週用に6本を用いる。

☒ ポンプ打ちコンクリートは、打ち込む位置にできるだけ近づけて垂直に打ちコンクリートの自由落下高さは、コンクリートが分離しない範囲とする。ポンプ圧送に際しては、コンクリート圧送技士または同等以上の技能を有する者が従事すること。なお、打ち込み継続中における打継ぎ時間間隔の限度は、外気温が25℃未満の場合は150分、25℃以上の場合は120分以内とする。

☐ スラフ`及び梁打継ぎ部に対してはシャキー (含サンコ`ラス) を設けること

☐ 水平打継ぎ面 (柱は中央山状、壁は平滑) はレイタンス処理を行う

☒ 現場水中養生槽と温度計を備えること

☒ 床、梁はタンピングを行う。

☒ コンクリート面は乾燥させないよう (シートなどで) 養生を行う。

(2) 鉄筋

■鉄筋はJIS G3112の規格品を標準とする。

■鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の長さ、定着長さは「鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1) (2)」または「壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1) (2)」及び「鉄筋コンクリート造配筋指針」による。

D19未満は全て重ね継手とする。継手 (D19以上) をガス圧接とする場合は日本圧接協会「鉄筋のガス圧接工事標準仕様書」による。

□ガス圧接部の抜き取り検査は、同一作業班が同一日に施工した圧接箇所ごと (200箇所を超えときは、200箇所ごと) に1回行い、1回の試験は5本以上とし、試験体採取位置を記録する

外観検査 ☐有 ☐無、引張試験 ☐有 ☐無、超音波探傷試験 ☐有 ☐無

柱の帯筋 (HOOP) の加工方法は、☐H型 (タガ型) ☐W型 (溶接閉鎖型) ☐S型 (スパイラル型) とする。

コンクリート及び鉄筋の試験は公的機関として行政より認定を受けた試験機関で行うこと

試験機関名 ☐

代行業者名 ☐ 工事監理者の指定する機関

代行業者名とは、試験、検査に伴う業務を代行する者をいう。

(3) 配筋

■柱、梁接合部での鉄筋の納まり主筋の交叉) を検討し、肋筋の加工寸法を決定すること

■使用鉄筋をロールマークと鋼種マークで確認すること

■壁筋の結束は2ヶ所以上とする

□柱の四隅の主筋に対するx、y方向の被り寸法を測定すること

■梁主筋 (上下共) と肋筋の交点は必ず結束すること

■被りを確保するためのスペーサーは必ず横筋に取り付けること

□柱筋用スペーサーは鋼製とすること

(4) 型 枠

■材料 合板厚 12mmを標準とする

■型枠存置期間

種類 部 位 セメン ト種 類 存 置 期 間 の 温 度	せ き 板				支 柱			
	基礎、はり側、柱、壁		スラブ下、はり下		スラブ下		はり下	
	早強ポルト ランドセメント	普通ポルト ランドセメント	早強ポルト ランドセメント	普通ポルト ランドセメント	早強ポルト ランドセメント	普通ポルト ランドセメント	早強ポルト ランドセメント	普通ポルト ランドセメント
	高炉セメント A種 シリカセメント A種		高炉セメント A種 シリカセメント A種		高炉セメント A種 シリカセメント A種		高炉セメント A種 シリカセメント A種	
コン グ リ ー ト	15℃以上	2	3	4	6	8	17	28
	5℃～15℃	3	5	6	10	12	25	28
	5℃未満	5	8	10	16	15	28	28
コンクリートの 圧縮強度	5 N/mm ²		設計基準強度の50%		設計基準強度の			
					85%		100%	

注) 1 片持ちばり、庇、スパン9.0m以上のはり下は、工事監理者の指示による。

注) 2 大ばりの支柱の盛りかえは行わない。また、その他のはりの場合も原則として行わない。

注) 3 支柱の盛りかえは、必ず直上階のコンクリート打ち後とする。

注) 4 盛りかえ後の支柱頂部には、厚い受板、角材または、これに代わるものを置く。

注) 5 支柱の盛りかえは、必ず小ばりが終わってから、スラブを行う。一時に全部の支柱を取り払って、盛りかえをしてはならない。

注) 6 上表以外のセメントを使用する場合は工事監理者の指示による。

6. 鉄骨工事

(1) 鉄骨工事は指示のない限り下記による

☒ 日本建築学会「JASS6」「鉄骨精度検査基準」「鉄骨工事技術指針」「超音波検査規準」

(2) 工事監理者の承認を必要とするもの

☒製作工場 ☒製作要領書 ☒工作図 ☒施工計画書

☐設定または登録工場 (Rグレード以上 都登録 ランク)

☒材料規格証明書または試験成績書

☒鋼材 ☒高力ボルト ☐特殊ボルト ☐スタッドボルト

☒社内検査表 ☐

(3) 工事監理者が行う検査項目

(□印以外の項目の検査結果については、工事監理者に報告すること)

☒現寸検査 ☐組立・開先検査 ☒製品検査 ☒建方検査

(4) 接合部、及び接合部の検査

☒溶接部の検査 (検査結果は後日工事監理者に報告すること)

検 査 箇 所	検 査 方 法	検査率又は検査数			備 考
		社 内	第三者	工事監理者	
☐ 突合せ溶接部	超音波深備試験	100 % 個	30 % 個	% 個	建設省告示第1464号 に関する溶接部の検査を行う
☐	外観（目視）検査	100 %	100 %	100 %	
☐	マクロ試験・その他	個	個	個	
第三者検査機関名		C I W認定機関			
第三者検査機関とは、建築主、工事監理者又は工事施工者が、受入れ検査を代行させるために自ら契約した検査会社をいう。					

注) 現場溶接部については原則として第三者による全数検査を行うこと。

注) スカラップは設けない (ノンスカラップとする)

(5) 高力ボルト

☒溶融亜鉛メッキ高力ボルトを使用する摩擦面は、すべり係数値が0.4以上確保できるように溶融亜鉛メッキ後、軽くプラスト処理を施す。摩擦面をりん酸塩処理とする場合は、指定又は認定された条件に基づき、すべり耐力等を確認すること。

☒高力ボルトの締付けに使用する機器はよく調整されたものを使用し、締付けの順序は部材が十分密着するよう注意で行う。また、締付けは原則として2度締めとする

締付け後の検査は、各締付け工法別に適切な締付けが行われているか検査する。

またマーキング`はボルト`軸部よりナットの角を通り母材までとする。

☒軸力導入試験を行う。

(6) 寸法測定

☒フ`ラケット長さは柱の仮想芯に対する値とすること

☒スバ`ンド部材成については相対誤差管理を行うこと

☒使用鋼板及び広幅平鋼・新日鉄、NKK、住友金属、川崎製鉄、神戸製鋼、関西製鋼

☒材料規格証明書 (鋼板の製品番号を記入した切断伝票及び型钢製品ラベ`ルの提出)

(7) 防錆塗装 (スリブ`管内JIS K5621 2回)

□防錆塗装の範囲は、高力ボルト接合の摩擦面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする。錆止めペイントは、JIS K5621、2回塗を標準とする。

□現場における高力ボルト接合部及び接合部の素地調整は入念に行い、塗装は工場塗装と同じ錆止めペイントを使用し2回塗りとする。

(8) 溶接の技能者

☒AW検定の認定者とする

(9) 成分分析

□鉄骨の成分分析を 10ヶ所行う。 ※ 11成分 (C, Si, Mn, P, S, Cu, Cr, Ni, Mo, V, B)

7. 設備関係

■特記以外の梁貫通孔は原則として設けない。設ける場合は設計者の承認を得ること。

■設備機器の架台及び基礎については工事監理者の承認を得ること。

■床スラブ内に設備配管等を埋込む場合はスラブ厚さの1／3以下とし管の間隔を5cm以上とする。

8. その他

■諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。

■各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監理者に報告すること。

■必要に応じて記録写真を撮り保管すること。

■改善指示事項については前後の写真をつけてすみやかに処置報告を提出すること

□杭工事において地盤が傾斜している為、試験掘の結果杭長を変更することがある

□地中梁で既存杭の為、新設杭が移動する場合は、地中梁の成`配筋を変更する

今福設備設計

福岡県福岡市早良区原3-6-5-702

TEL 092-776-1190

FAX 092-776-1190

一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-61618号

承認

構造

工事名 (株)パークランド 糞処理施設新築工事

SIZE

NO. S-001

一級建築士登録 第344237号

設計

製図

図名 構造設計標準仕様

SCALE

DATE

2025. 6

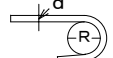
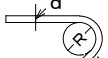
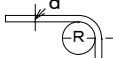
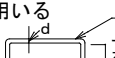
今福 雄一

鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)

1. 一般事項

- (1) 構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。
- (2) 記号
d・・・異形棒鋼の公称直径、又は丸鋼の直径 D・・・部材の成 R・・・直径
@・・・間隔 r・・・半径 L o・・・部材間の内法距離 h o・・・部材間の内法高さ
S T・・・あばら筋 H O O P・・・帯筋 S, H O O P・・・補強帯筋 φ・・・直径、又は丸鋼

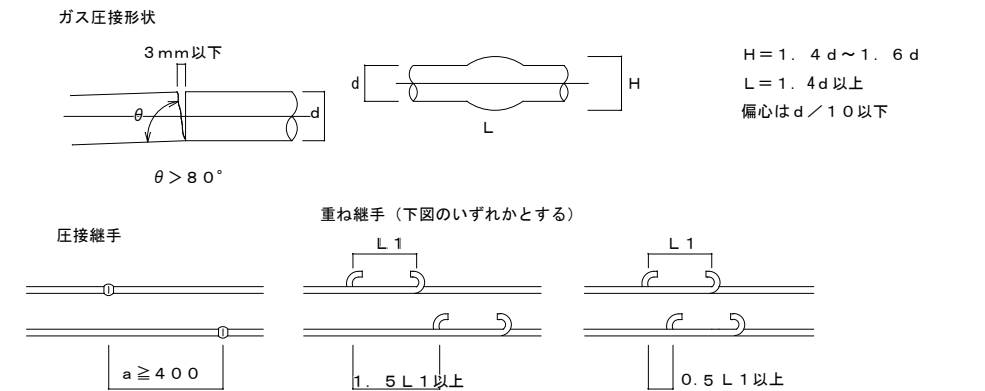
2. 鉄筋加工、かぶり

(1) 鉄筋末端部の折曲げの形状				
折曲げ角度	180°	135°	90°	備 考
図				スラブ筋・壁筋の末端部またはパイプと同時に打ち込むI型およびL型梁の隅にのみ用いる キャップタイ  * 片持スラブ上端筋の先端
鉄筋の余長	4 d 以上	6 d 以上	8 d 以上 (* 4 d 以上)	
折曲げ内法寸法RはSR24は3 d 以上、SD30、SD35は4 d 以上				

(2) 鉄筋中間部の折曲げの形状				
図	使用箇所	鉄筋径 d	折曲げ角度 90° 以下	
	a) 帯筋 あばら筋 パイプ筋	各種	SR24	3 d 以上
			SD30、SD35	4 d 以上
	b) スラブ筋 壁筋	φ16、D16以下		5 d 以上
		φ19、D19以上		6 d 以上
	c) a) b) 以外の鉄筋	φ28以下、D25以下		6 d 以上
		φ32以下、D41以下		8 d 以上

(3) 鉄筋の定着及び重ね継手の長さ				
鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度の範囲	定 着 の 長 さ		
		一般 (L2)	下端筋 (L3)	
SR235	21~36	35 d フックつき	25 d フックつき	15 cm 7つつき
	18 以下	45 d フックつき		
SD295A	27~42	30 d または 20 d フックつき		
SD345	21~24	35 d または 25 d フックつき	25 d または 15 d フックつき	10 d かつ 15 cm 以上
	27~42	35 d または 25 d フックつき		
SD390	27~42	40 d または 30 d フックつき		
	21~24	40 d または 30 d フックつき		

- 継手
1. 末端のフックは、定着及び継手の長さには含まれない
 2. 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする
 3. 直径の異なる材の継手は、細い方の材の継手長さとする
 4. 直径がD29以上の場合は、重ね継手としてはならない
 5. 鉄筋径の差が7mmを越える場合は、圧接としてはならない



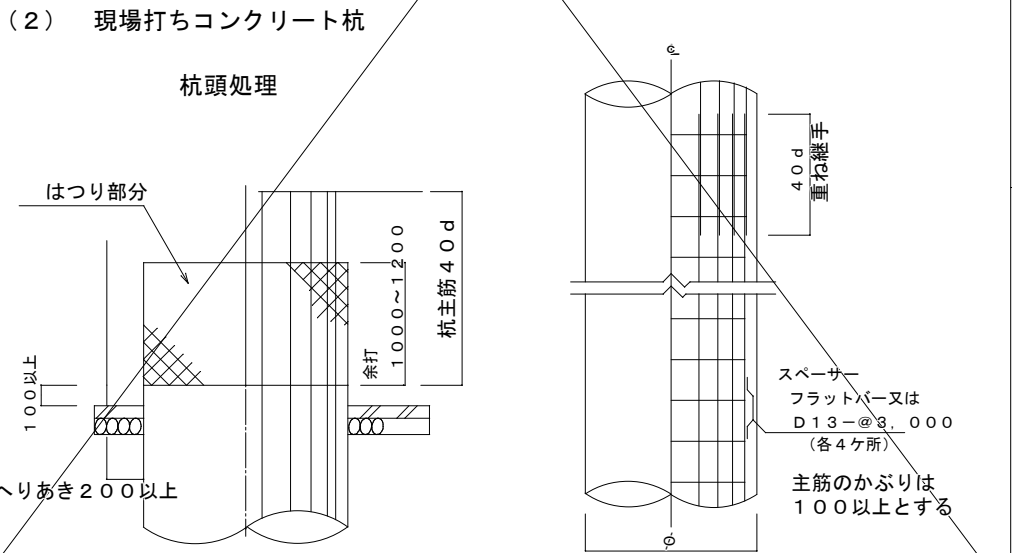
(4) かぶり厚さ				
かぶり厚さの最小値 (JASS 5.10.1表)				
構造部分の種類		コンクリートの種類	普通コンクリート	軽量コンクリート
土に接しない部分	床スラブ・屋根スラブ・耐力壁以外の壁	仕上げあり 仕上げなし	30 40	30 40
		柱 はり	40 40	40 40
	耐力壁	屋内 屋外	40 50	40 50
		壁	50	50
土に接する部分	柱・はり・床スラブ・基礎立上り部		50	60
	基礎・擁壁		70	80

- * 1. コンクリートの品質および施工方法に応じ、工事管理者の承認を受けて30mmとすることができる
- * 2. 軽量コンクリート1種および2種に適用する
- * 3. かぶり厚さは日本建築学会の配筋指針案による設計かぶり厚さの標準値とする。

- (5) 鉄筋のあき
- 異径鉄筋1.7d以上(鉄筋間隔2.7d以上)
- 粗骨材の最大寸法の1.25倍以上かつ25以上
- (6) 鉄筋のフック(a~fに示す鉄筋の末端部にはフックを付ける。)
- a. 丸鋼
 - b. あばら筋、帯筋
 - c. 煙突の鉄筋
 - d. 柱、梁(基礎梁は除く)の出すみ部分の鉄筋(右図参照)
 - e. 単純梁の下端筋
 - f. その他、本配筋標準に記載する箇所
- 上図の●印の鉄筋の重ね継手の末端にはフックが必要

3. 杭 (地震力等の水平力を考慮する必要がある場合は、別途検討すること。)

(1) PC杭、又はPHC杭の全てに補強を行う				
所定の位置に止まった場合		所定より低く止まった場合		
杭 径	300φ、350φ	400φ	450φ	500φ
補強筋	6-D13	8-D13	10-D13	8-D16
H O O P	D10-@150			



4. 基礎

- (1) 直接基礎
-
- 斜め筋
ベース主筋の最大径と同径で3本以上
- ベース筋
a=D1+2dの範囲
主筋間隔の200以下
- bの範囲
主筋間隔の1.5倍かつ300以下
- (2) 杭基礎
- フック付き
- フック無し
- 余長4d
- (3) べた基礎
- ハンチを付けた場合(a≥3)
1. 耐圧版鉄筋の継手位置は床スラブにならう
但し上筋と下筋を読みかえる
 2. ①の鉄筋はスラブ主筋の径以上とする
 3. ②の鉄筋はD13以上
 4. 埋戻し土のある場合は40を60とする

- (4) 基礎接合部の補強
-
- W1の三角壁厚さは、200以上又は地中梁幅とし、
配筋は同厚の壁リストにならう
- H≤500は*印筋は不用とする
- *印筋はD10-@200とする

5. 地中梁

- (1) 独立基礎、杭基礎の場合(定着、継ぎ手)
-
- (2) 布基礎、べた基礎の場合(定着、継ぎ手)
-
- *上端主筋の定着は、やむを得ない場合、上向きとすることができる
- (3) 小規模鉄骨造の柱脚固定の配筋
-
- 地中梁の主筋、スタッドボルト(スタッドジベル)による、おさまりに注意する
- 鉄骨柱D
- H O O P 2-D13以上
- 125以上
- H O O P 2-D13以上
- 地中梁上端筋
- H O O P #150
- 地中梁下端筋
- B.P.下端
- 30~50
- 150以上
- 30~50
- ベース下の施工を慎重にする
(半固定として行政指導されることもあるので留意すること)

今福設備設計

福岡県福岡市早良区原3-6-5-702
TEL 092-776-1190
FAX 092-776-1190

一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-61618号

一級建築士登録 第344237号

今福 雄一

承認

設計

構造

製図

工事名 (株)ポーランド 糞処理施設新築工事

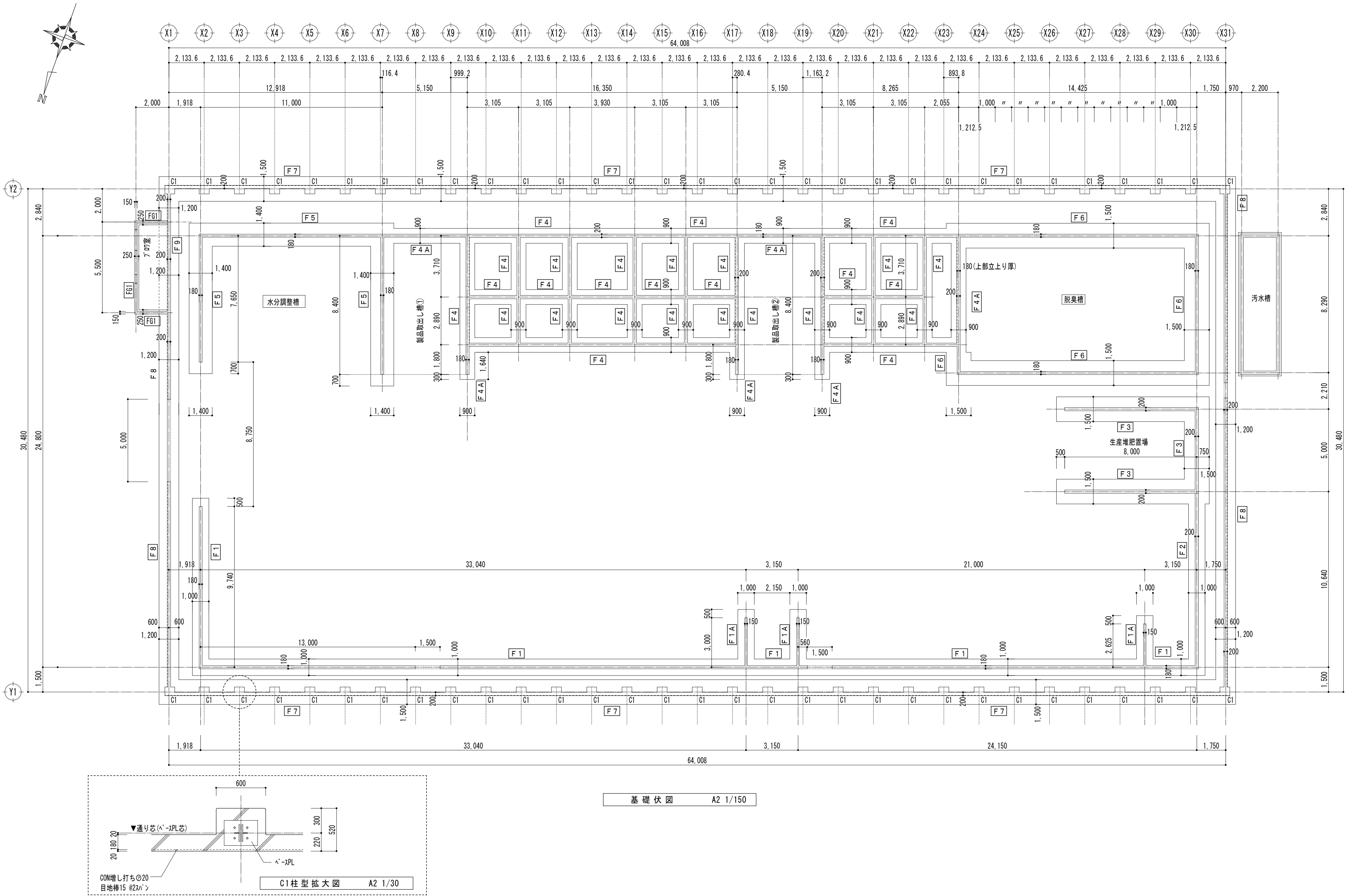
図名 鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)

SIZE
A2

SCALE
NS

NO.
S-002

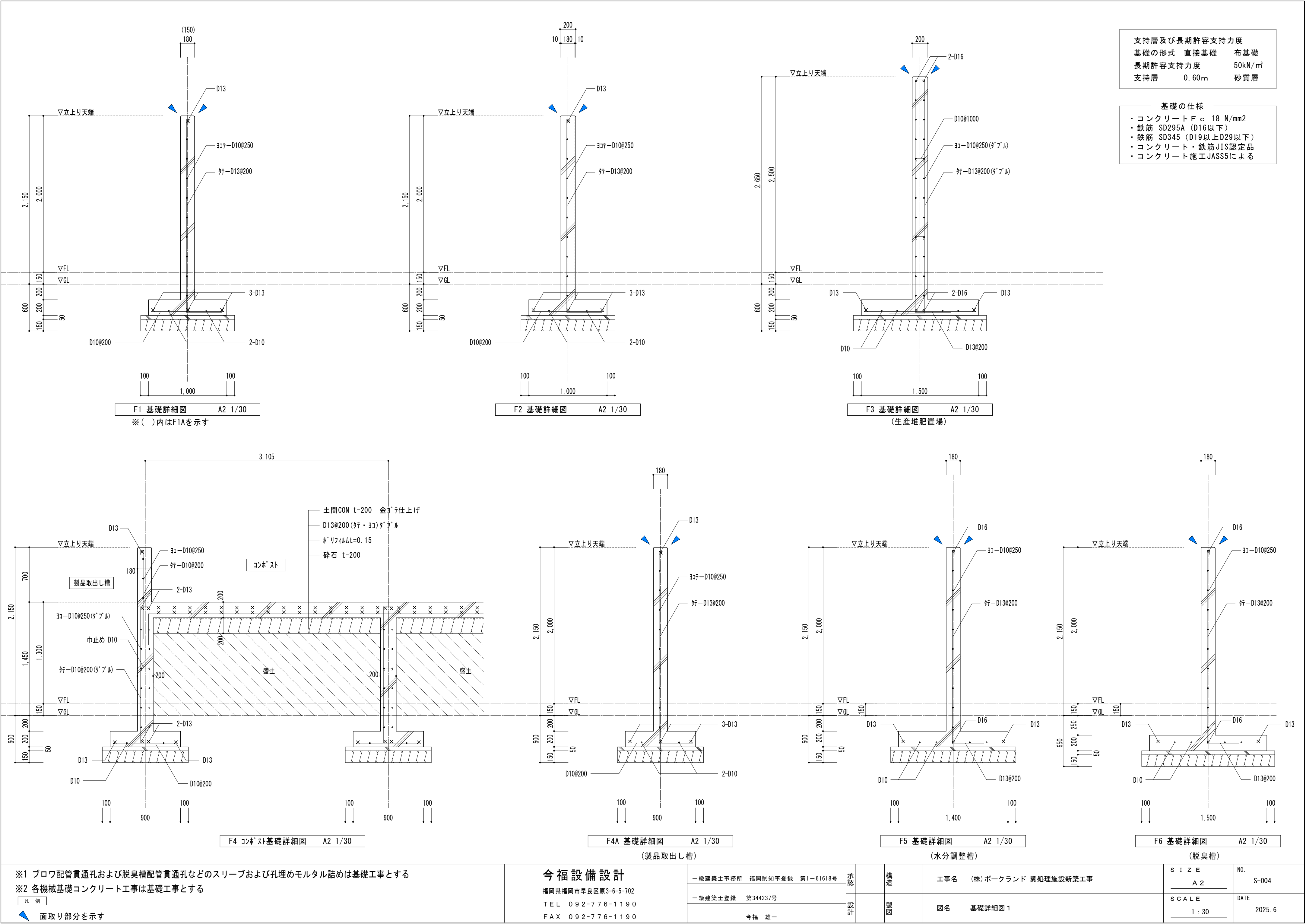
DATE
2025. 6



※1 ブロウ配管貫通孔および脱臭槽配管貫通孔などのスリーブおよび孔埋めモルタル詰めは基礎工事とする
※2 各機械基礎コンクリート工事は基礎工事とする

今福設備設計 福岡県福岡市早良区原3-6-5-702 TEL 092-776-1190 FAX 092-776-1190	一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-61618号
	一級建築士登録 第344237号
	今福 雄一

DATE	2025. 6
------	---------



※1 ブロウ配管貫通孔および脱臭槽配管貫通孔などのスリーブおよび孔埋めモルタル詰めは基礎工事とする

※2 各機械基礎コンクリート工事は基礎工事とする

凡 例

面取り部分を示す

今福設備設計

福岡県福岡市早良区原3-6-5-702

TEL 092-776-1190

FAX 092-776-1190

一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-61618号

一級建築士登録 第344237号

今福 雄一

承認

設計

構造

製図

工事名 (株)ポークランド 糞処理施設新築工事

図名 基礎詳細図1

SIZE

A2

NO.

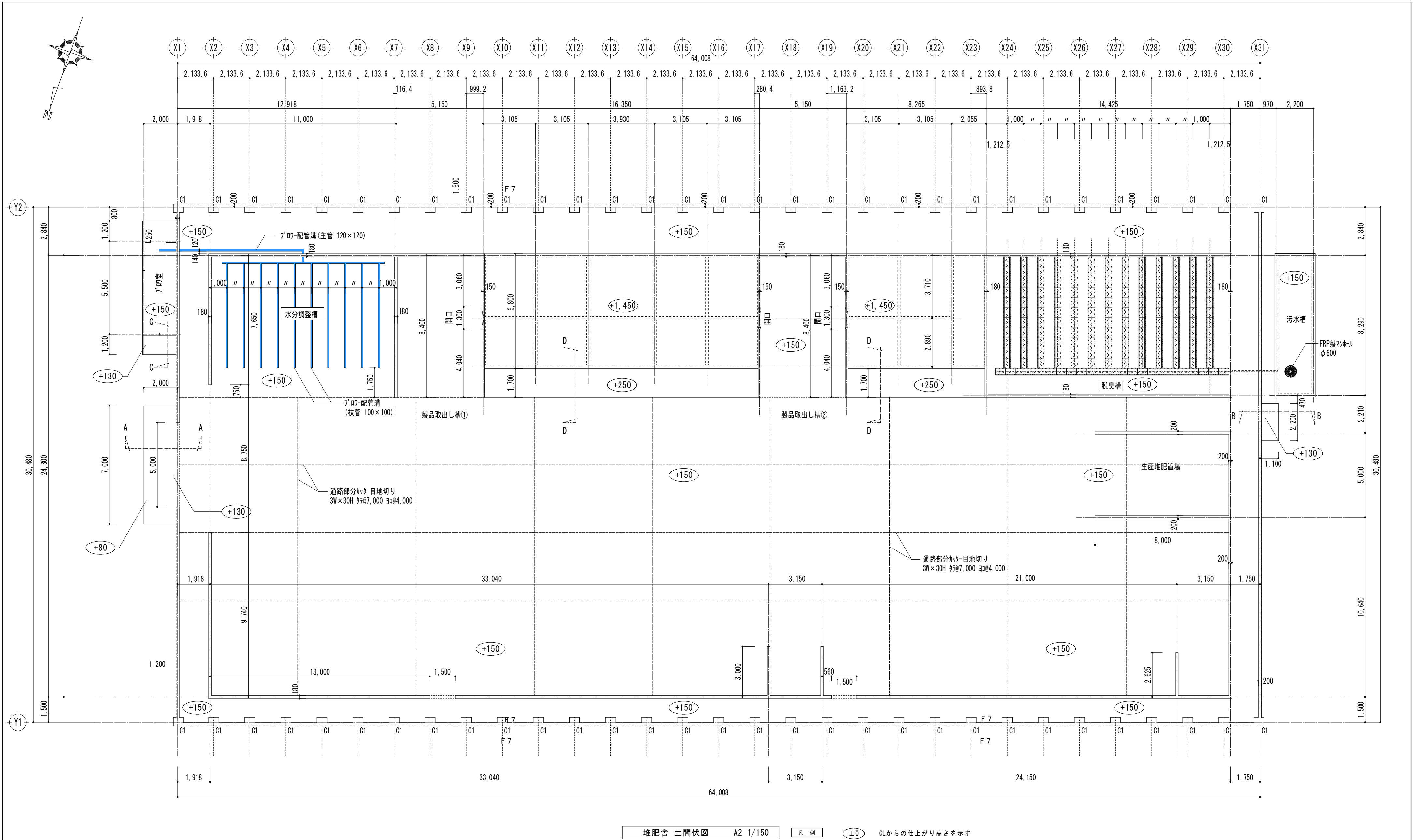
S-004

SCALE

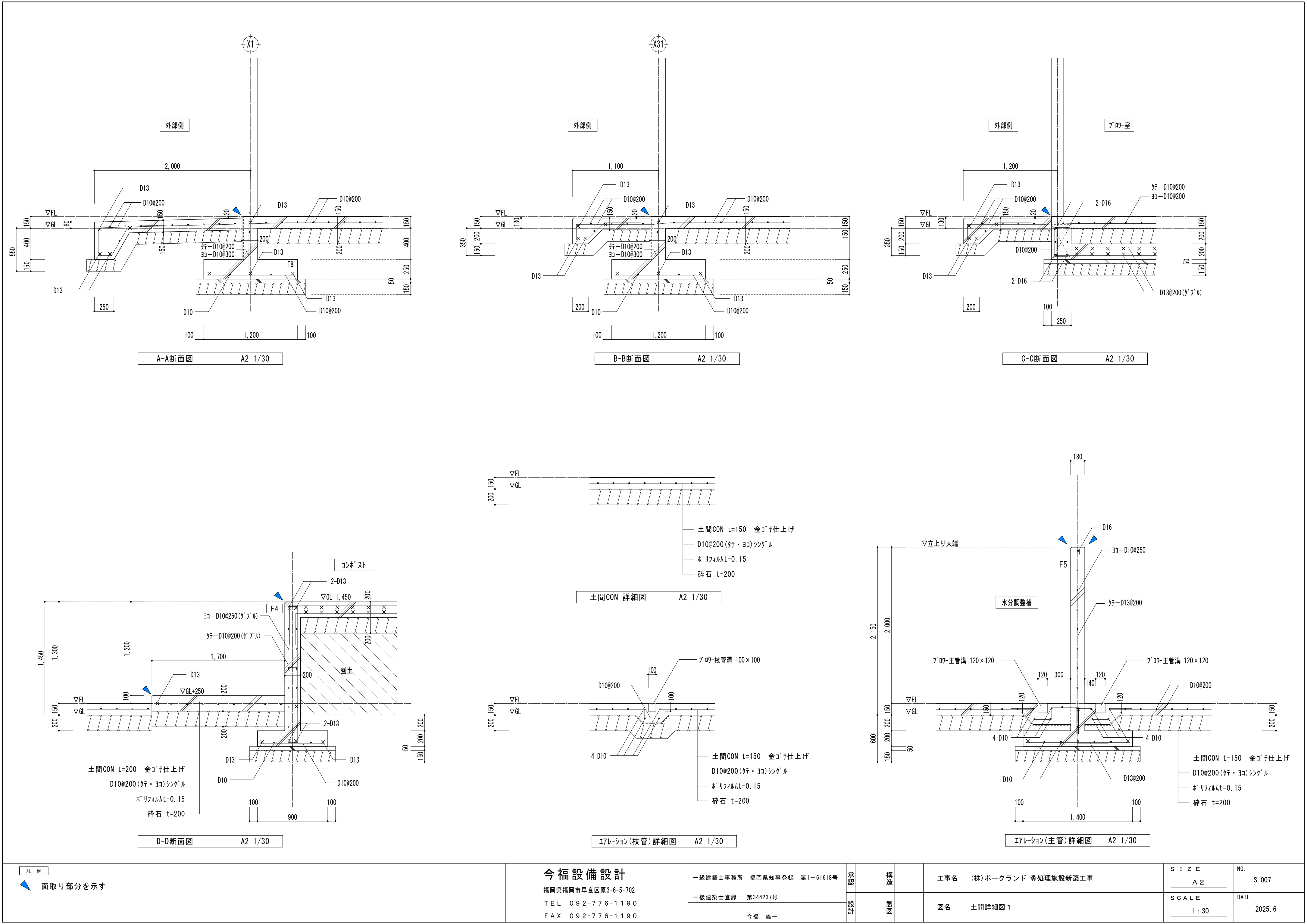
1:30

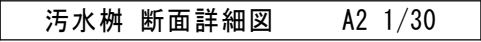
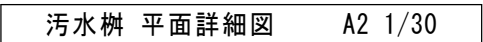
DATE

2025. 6



※1 ブロワ配管貫通孔および脱臭槽配管貫通孔などのスリーブおよび孔埋めモルタル詰めは基礎工事とする ※2 各機械基礎コンクリート工事は基礎工事とする	今福 設備設計 福岡県福岡市早良区原3-6-5-702 TEL 092-776-1190 FAX 092-776-1190	一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-61618号	承認	構造	工事名 (株)ポーランド 糞処理施設新築工事	SIZE A2	NO. S-006	
		一級建築士登録 第344237号	設計	製図		図名 土間伏図	SCALE 1:150	DATE 2025. 6
		今福 雄一						





トリカルネット(同等品)はU字溝内へのガラス発泡材の落下を防ぐために敷設する



※2 各機械基礎コンクリート工事は基礎工事とする

福岡県福岡市早良区原3-6-5-702

FAX 092-776-1190

一級建築士登録 第344237号

SCALE

DATE _____